

平成21年度 「みやざき小中学校学力・意識調査」 分析結果



目次

I	調査の概要	
1	実施の概要	1
2	学力調査の結果	2
3	意識調査の結果	3
4	分析の概要	4
II	各教科の分析結果	
II-1	小学校各教科の分析	5
1	小学校5年国語	5
2	小学校5年社会	9
3	小学校5年算数	13
4	小学校5年理科	17
II-2	中学校各教科の分析	
1	中学校2年国語	21
2	中学校2年社会	25
3	中学校2年数学	29
4	中学校2年理科	33
5	中学校2年英語	37
III	意識調査の分析結果	
III-1	小学校	41
	「授業」に関すること	41
	「学習」に関すること	42
	「生活」に関すること	43
	「自分」に関すること	44
III-2	中学校	45
	「授業」に関すること	45
	「学習」に関すること	46
	「生活」に関すること	47
	「自分」に関すること	48
※付録	数値についてもっと知りたい!	49
※付録	A層～D層についてもっと知りたい!	50

I 調査の概要

1 実施の概要

調査目的	県内の小・中学校における児童生徒の学力の実態を把握・分析し、その結果をもとに、児童生徒の学力向上に総合的に取り組む。
実施日	平成21年4月21日(火)・22日(水)
調査実施校	市町村立小学校 251校(小学校10校 対象児童なし) 市町村立中学校 136校 県立五ヶ瀬中等教育学校(前期課程) 県立宮崎西高等学校附属中学校 宮崎大学教育文化学部附属小・中学校 特別支援学校 3校(2小学部・2中学部) (小学校 11205人、中学校 10917人)
対象学年	小学校第5学年
	中学校第2学年
調査実施 対象教科等	<学力調査> ○ 小学校第5学年 国語、社会、算数、理科 ○ 中学校第2学年 国語、社会、数学、理科、英語 ※ 学習指導要領に示されている各教科の目標に即し、それぞれの教科の観点に沿った内容で調査を実施する。
	<意識調査> ○ 小学校第5学年、中学校第2学年 ※ 学習に対する意欲や取組の状況、学習習慣や学習を支える基礎となる体験の状況、読書の状況等について、アンケート方式で調査を実施し、学力調査結果とのクロス分析を行う。

2 学力調査の結果

■ 小学校第5学年の平均到達度及び達成率

(%)

		全県	A層	B層	C層	D層
平均到達度	国語	66.7	85.1	63.1	40.0	15.9
	社会	65.8	83.9	63.5	39.0	15.6
	算数	66.9	82.4	62.8	38.9	14.7
	理科	73.1	83.8	64.8	42.1	14.0
達成率	国語	43.4	100.0	0.0	0.0	0.0
	社会	36.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	算数	39.4	100.0	0.0	0.0	0.0
	理科	54.4	100.0	0.0	0.0	0.0

■ 中学校第2学年の平均到達度及び達成率

(%)

		全県	A層	B層	C層	D層
平均到達度	国語	57.4	82.9	61.3	37.5	15.3
	社会	48.7	83.1	62.2	37.6	16.4
	数学	43.1	84.0	59.3	38.0	16.4
	理科	46.2	83.3	61.2	37.6	16.8
	英語	50.2	82.1	59.8	36.7	16.7
達成率	国語	26.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	社会	18.8	100.0	20.6	0.0	0.0
	数学	7.1	100.0	9.3	0.0	0.0
	理科	18.8	100.0	32.1	0.0	0.0
	英語	18.3	100.0	10.7	0.0	0.0

※ 到達度は、児童生徒が正答、準正答であった問題数の割合を表し、平均到達度はその平均となる。

※ A層・B層・C層・D層とは、各教科の最高到達度と最低到達度の差を均等に4段階の層に分け、上位から順にA～Dとしたものであり、A層～D層の平均到達度は、各層の児童生徒の到達度を平均したものである。

※ 達成率は、各教科における観点及び領域ごとに設定された目標値に到達した人数の割合を、全県及びA層～D層ごとに示したものである。

※ A層～D層については、意識調査と学力の関連を見るときに有効である。

[目次へ](#)

3 意識調査の結果

■ 小学校第5学年の肯定的回答の割合

□ 学習意識調査

(%)

	全県	A層	B層	C層	D層
授業に関すること	87.1	90.8	86.1	80.0	69.6
学習に関すること	60.9	63.3	60.1	57.1	51.0
生活に関すること	68.2	71.2	67.1	63.2	57.6
自分に関すること	87.2	90.5	86.7	80.1	67.4

■ 中学校第2学年の肯定的回答の割合

□ 学習意識調査

(%)

	全県	A層	B層	C層	D層
授業に関すること	77.6	84.0	80.2	75.9	67.8
学習に関すること	59.2	65.5	62.1	57.8	46.9
生活に関すること	57.1	61.1	58.7	56.2	51.0
自分に関すること	81.6	85.7	83.6	81.1	71.5

※ 肯定的回答の割合

A層・B層・C層・D層とは、全教科(小学校4教科、中学校5教科)の最高到達度と最低到達度の差を均等に4段階の層に分け、上位から順にA～Dとしたものであり、各層の児童生徒が意識調査において、肯定的に回答(望ましい回答)した人数の割合を表わしている。

[目次へ](#)

4 分析の概要

■ 学力に関する分析

□ 小学校の社会、算数、中学校の数学に課題が見られる。

小学校の社会、算数について、目標値に到達した受検者の割合（＝達成率）が低い。中学校の数学についても同様である。これらの教科については、達成率の低い問題を分析し、児童生徒のつまずきの原因を把握して今後の指導に生かすことが大切である。

□ 小学校と中学校で、到達度のばらつきに違いが見られる。

県の平均到達度を見ると、小学校の全教科がA層とB層の間にあり、中学校では全教科がB層とC層の間にある。また、B層の達成率は中学校の方が高い。各教科の到達度分布状況を細かく分析し、到達度の個人差が大きい教科はより一層個に応じた指導を行うことが大切である。

■ 意識に関する分析

□ 「学習」と「生活」に関する項目に課題が見られる。

小、中学校ともに、肯定的回答の割合が低いのは、昨年同様、「学習」及び「生活」に関する項目である。家庭学習の仕方や学校以外での過ごし方など、学校以外での学習や生活に対して、家庭と協力して指導を行うことが大切である。

□ 小学校の「学習」に関する項目に課題が見られる。

昨年度と比較すると、小学校の「学習」に関する肯定的な回答が7.5ポイント下回り、A層とD層の差も大きくなっている。学習方法や学習習慣の見直しが必要であり、そのための具体的な指導も大切である。

■ 学力と意識の関係分析

□ 小学校では「自分」と「授業」、中学校では「学習」に関する項目で、学力と関連性が見られる。

意識調査において、A層とD層の肯定的な回答に大きな差が見られる項目は、学力との関連性が深いことを表している。小、中学校とも学力が高いと意識も肯定的である傾向は見られるが、特に小学校では「自分」、「授業」、中学校は「自分」に関する項目が学力との関連が深い。また、小学校と中学校を比較すると、小学校の方が、学力と意識との関連が深い。

□ 小学校では「自分」、中学校では「学習」に関する項目で、D層の学力と関連性が見られる。

D層に注目すると、「自分」「学習」の項目は肯定的な回答と全県の値との差が大きい。このことから、小学校では、D層の児童に対して、自分の将来への夢や希望をもたせたり、自己肯定感をもたせたりする指導を行うことが大切である。また、中学校では、D層の生徒に対して、学習の習慣や方法を身に付けさせる指導を行うことが大切である。

Ⅱ-1 小学校 各教科の分析

1 小学校5年:国 語

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

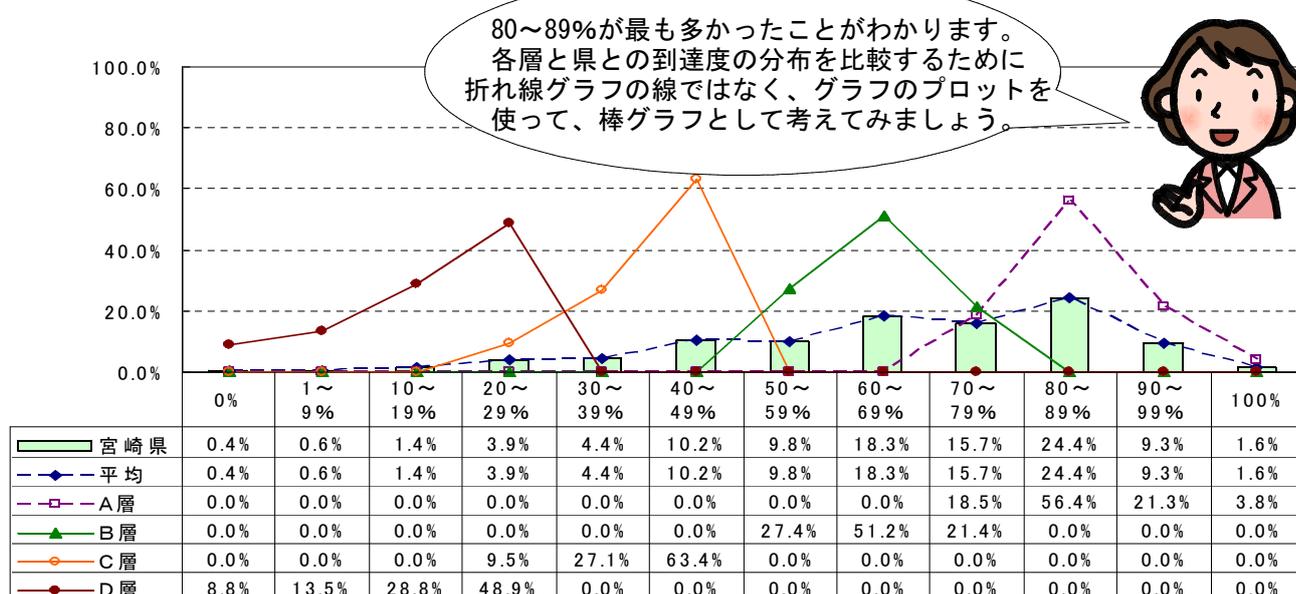
観点・領域		全県	A層	B層	C層	D層
平均到達度	教科全体	66.7	85.1	63.1	40.0	15.9
	読む能力	64.1	86.1	60.0	29.9	11.4
	言語についての知識・理解・技能	71.7	86.2	69.4	52.7	21.6
	書く能力	36.8	60.2	26.1	8.5	1.1
	読むこと	64.1	86.1	60.0	29.9	11.4
	言語事項	71.7	86.2	69.4	52.7	21.6
	書くこと	36.8	60.2	26.1	8.5	1.1
達成率	教科全体	43.4	100.0	0.0	0.0	0.0
	読む能力	48.2	91.4	23.9	0.3	0.0
	言語についての知識・理解・技能	41.4	76.9	21.7	1.9	0.0
	書く能力	36.8	60.2	26.1	8.5	1.1
	読むこと	48.2	91.4	23.9	0.3	0.0
	言語事項	41.4	76.9	21.7	1.9	0.0
	書くこと	36.8	60.2	26.1	8.5	1.1

目標値	達成率
教科全体	75.0
読む能力	73.8
言語についての知識・理解・技能	76.7
書く能力	70.0
読むこと	73.8
言語事項	76.7
書くこと	70.0



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



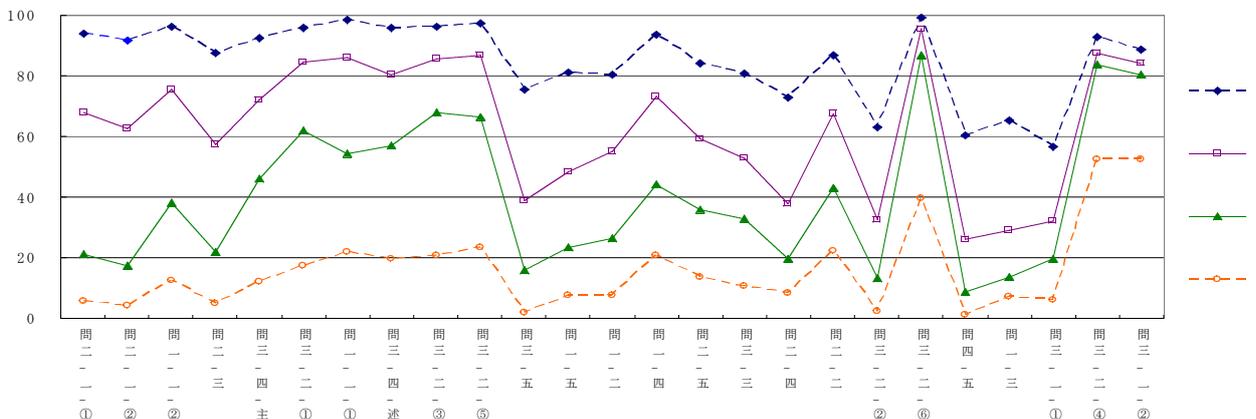
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率 ※ A層～D層の数値は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (％)

問題番号	通過率		出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層～D層	無解答率
	大問	小問											
1	1	1	登場人物の把握	読むこと	読む能力	ア	83.3	98.6	86.2	54.2	21.8	76.8	2.1
2	1	1	登場人物の把握	読むこと	読む能力	ア	75.5	96.4	75.3	38.3	12.6	83.8	4.1
3	1	2	内容の理解	読むこと	読む能力	イ	59.2	80.5	55.0	26.5	7.7	72.8	11.6
4	1	3	内容の理解	読むこと	読む能力	イ	41.3	65.4	28.9	13.7	7.3	58.1	2.4
5	1	4	心情の理解	読むこと	読む能力	イ	74.8	93.4	73.1	44.2	20.7	72.7	3.2
6	1	5	場面展開の理解	読むこと	読む能力	イ	56.6	81.2	48.2	23.3	7.7	73.5	5.7
7	2	1	指示する内容の理解	読むこと	読む能力	ア	68.7	94.0	67.9	21.2	5.6	88.4	5.1
8	2	1	指示する内容の理解	読むこと	読む能力	ア	65.2	91.8	62.7	17.3	4.3	87.5	7.2
9	2	2	適切な熟語の選択	読むこと	読む能力	ア	69.9	86.9	67.7	43.0	22.4	64.5	1.1
10	2	3	適語補充	読むこと	読む能力	イ	62.2	87.5	57.4	21.7	4.9	82.6	6.5
11	2	4	段落の相互関係の理解	読むこと	読む能力	イ	48.7	72.9	37.9	19.8	8.3	64.6	3.0
12	2	5	内容の理解	読むこと	読む能力	イ	64.2	84.3	59.4	35.7	13.5	70.8	3.5
13	3	1	筆順の理解	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	39.4	56.5	32.1	19.6	6.2	50.3	0.9
14	3	1	筆順の理解	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	84.0	88.8	84.0	80.2	52.4	36.4	1.0
15	3	2	漢字の書き	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	82.5	95.8	84.4	61.9	17.3	78.5	5.3
16	3	2	漢字の書き	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	41.1	62.9	32.4	13.3	2.1	60.8	8.5
17	3	2	漢字の書き	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	84.3	96.2	85.7	68.0	20.9	75.3	3.5
18	3	2	漢字の読み	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	87.5	92.9	87.4	83.8	52.4	40.5	1.3
19	3	2	漢字の読み	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	85.2	97.5	86.9	66.5	23.3	74.2	5.7
20	3	2	漢字の読み	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	93.1	99.2	95.6	86.9	39.7	59.5	2.7
21	3	3	漢字辞書の活用	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	59.7	80.6	52.9	32.7	10.7	69.9	3.4
22	3	4	主語・述語の関係	言語事項	言語についての知識・理解・技能	イ	73.8	92.3	72.2	46.1	12.2	80.1	4.2
23	3	4	主語・述語の関係	言語事項	言語についての知識・理解・技能	イ	80.4	95.8	80.3	57.0	19.7	76.1	4.5
24	3	5	ローマ字の知識	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	49.4	75.6	39.0	16.0	1.7	73.9	13.5
25	4	1	資料の断片をもとにした文章の記述	書くこと	書く能力	ウ	36.8	60.2	26.1	8.5	1.1	59.1	9.8

ア	基礎的・基本的な内容を問う問題(到達目標を含む)
イ	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
ウ	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用するかなどを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

- 読む能力** — 書かれている内容を理解するための基礎的・基本的な知識や能力が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) ■ 叙述に即して登場人物の気持ちを読み取る。
■ 文章の要旨をとらえる。
- 書く能力** — 条件や目的に応じて書くことができるかどうかを見る問題。
(例) ■ 資料の情報を基にした文章を書く。
■ 相手に伝わるような分かりやすい文章を書く。
- 言語についての知識・理解・技能** — 言語事項に関する基礎的・基本的な知識や能力が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) ■ 漢字を正しく書いたり、読んだりする。
■ 漢字辞典の使い方を理解する。

■ 課題等

読むこと

- ◇ 登場人物を把握し、人物名を文章中の言葉で抜き出す問題（大問1小問1）は、設問別通過率が83.3%と高く、領域の目標値73.8%をかなり上回っている。
- ◆ 叙述に即して登場人物の気持ちを読み取ることに課題がある。
- ◆ 場面の移り変わりを想像しながら読むことに課題がある。
- ◆ 段落相互の関係を理解して読むことに課題がある。

書くこと

- ◆ 書くことの平均到達度は36.8%で、領域の目標値70.0%をかなり下回っている。
- ◆ 資料の情報を基に、条件にしたがって相手に分かりやすく伝えるための文章を書くことに課題がある。

言語事項

- ◇ 漢字を正しく読む問題（大問3小問2）は、設問別通過率がそれぞれ85.2%、87.5%、93.1%と高く、領域の目標値76.7%をかなり上回っている。
- ◆ 筆順の理解については設問によって大きな差がある。
- ◆ ローマ字を正しく書くことに課題がある。
- ◆ 漢字辞典の使い方を理解することに課題がある。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類ウとの関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

読むこと

- 叙述をもとに、登場人物の気持ちや場面の移り変わりを把握する言語活動の充実
 - ・ 各場面を構成する要素である登場人物の行動や会話に即しながら、それぞれの登場人物の性格を押さえ、登場人物同士がどのような関係にあるのかを考えながら読ませることが大切である。
 - ・ 各場面の様子に気を付けながら、場面と場面とを関係付けて読ませたり、読んだ感想を述べ合ったりすることが大切である。
- 段落相互の関係を理解する言語活動の充実
 - ・ 目的に応じていろいろな本や文章を分析的に読み、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えて全体の構成を把握し、自分の考えをまとめたりしながら読ませることが大切である。

書くこと

- 目的や相手に応じ、自分の考えが伝わるように分かりやすく書く言語活動の充実
 - ・ 児童に課題意識や相手意識をもたせ、書いた文章を相手がどのように受け止めるかなどについて考えさせることが大切である。
 - ・ 書く目的として、伝える、報告する、説明する、依頼する、案内するなど、具体的な生活場面で必要となる言語活動を取り上げることが大切である。

言語事項

- 3領域との関連を図った言語活動の充実
 - ・ 言語事項を定着させるためには、3領域との関連を図った言語活動を充実させることが大切である。例えば、「書くこと」の領域に示されている言語活動例を通して、書くことの指導を行う際には、当該学年の前の学年に配当されている漢字を書かせ、作文の中で使おうとする習慣を身に付けさせるようにすることが大切である。
- 基礎的な言語事項の定着を図る指導の重視
 - ・ ローマ字については、ローマ字表記が添えられた案内板やパンフレット等を使い、日常の生活場面とかかわりを持たせた指導を行うことが大切である。
 - ・ 必要な時にはいつでも辞典が手元にあり、使えるような言語環境を整えておくことが大切である。また、国語科に限らず、他の教科等でも辞典を使った学習を行ったり、日常生活の中でも積極的に辞典を活用できるようにさせたりすることが大切である。

2 小学校5年:社会

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

観点・領域		全県	A層	B層	C層	D層	
平均到達度	教科全体	65.8	83.9	63.5	39.0	15.6	
	資料活用	63.3	81.7	60.9	36.3	12.3	
	知識理解	75.4	89.8	74.2	53.6	28.3	
	思考判断	63.3	83.4	60.5	33.3	12.5	
	県の特徴	65.8	84.6	63.4	37.2	15.2	
	地域の先人	68.8	86.4	66.7	41.9	20.6	
	人々の生活	75.1	88.1	74.3	55.8	26.7	
	身近な地域	58.0	78.6	53.7	30.6	10.5	
	生産の仕事	75.4	93.9	77.0	38.5	8.5	
	安全を守る工夫	54.8	76.2	50.4	26.1	8.8	
	外国とのかかわり	40.2	65.9	32.0	10.2	2.1	
	達成率	教科全体	36.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	資料活用	35.4	82.1	12.5	0.0	0.0	
知識理解	50.3	82.5	41.5	8.3	0.5		
思考判断	35.3	76.2	16.9	0.1	0.0		
県の特徴	36.2	70.1	22.5	2.8	0.8		
地域の先人	53.6	76.2	48.7	22.5	9.5		
人々の生活	36.4	68.4	24.2	3.0	0.0		
身近な地域	30.3	62.2	16.2	2.2	0.3		
生産の仕事	74.9	97.5	77.7	25.5	0.8		
安全を守る工夫	33.7	65.3	21.0	3.1	0.0		
外国とのかかわり	40.2	65.9	32.0	10.2	2.1		

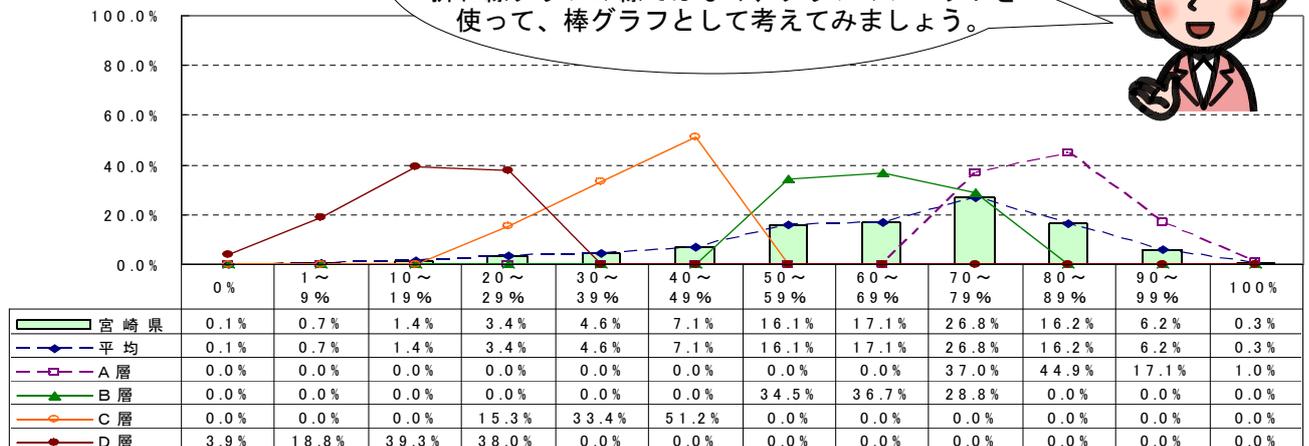
目標値	達成率
教科全体	75.0
資料活用	75.9
知識理解	79.3
思考判断	70.5
県の特徴	81.4
地域の先人	75.0
人々の生活	79.4
身近な地域	72.5
生産の仕事	73.8
安全を守る工夫	67.0
外国とのかかわり	50.0



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況

70～79%が最も多かったことがわかります。
各層と県との到達度の分布を比較するために
折れ線グラフの線ではなく、グラフのプロットを
使って、棒グラフとして考えてみましょう。



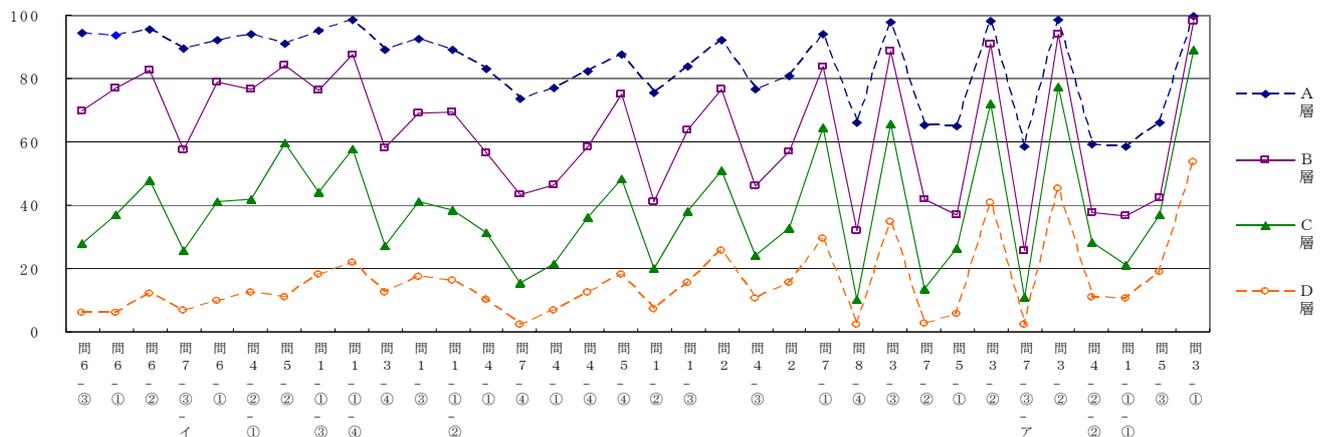
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率※ A層～D層の数値は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (％)

問題番号 題番	大問	小問	出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層	無解答率
1	1	1①	県の様子	県の特徴	資料活用	ア	41.4	58.6	36.5	21.0	10.5	48.1	2.8
2	1	1②	県の様子	県の特徴	資料活用	ア	70.4	89.1	69.5	38.5	16.2	72.9	3.0
3	1	1③	県の様子	県の特徴	資料活用	ア	76.5	95.0	76.1	44.3	18.0	77.0	3.2
4	1	1④	県の様子	県の特徴	資料活用	ア	85.1	98.4	87.7	57.6	21.9	76.5	3.6
5	1	2	県の様子	県の特徴	資料活用	ア	49.3	75.5	41.0	19.9	7.2	68.3	4.6
6	1	3①	県の様子	県の特徴	資料活用	イ	71.9	92.3	69.2	41.1	17.5	74.8	5.3
7	1	3②	県の様子	県の特徴	資料活用	イ	65.8	83.7	63.9	38.3	15.4	68.3	6.7
8	2	1①	地域の発展に尽くした人々	地域の先人	知識理解	ア	76.8	92.2	76.5	50.8	25.7	66.5	5.3
9	2	1②	地域の発展に尽くした人々	地域の先人	知識理解	ア	60.7	80.6	57.0	32.9	15.4	65.2	8.4
10	3	1③	古い道具と昔の暮らし	人々の生活	知識理解	ア	95.9	99.6	98.1	89.2	53.5	46.1	0.7
11	3	2①	古い道具と昔の暮らし	人々の生活	知識理解	ア	91.6	98.6	93.8	77.2	45.2	53.4	0.8
12	3	2②	古い道具と昔の暮らし	人々の生活	知識理解	ア	89.1	98.0	91.0	72.0	40.6	57.4	2.0
13	3	3	古い道具と昔の暮らし	人々の生活	思考判断	イ	86.9	97.8	88.8	65.5	34.7	63.1	2.0
14	3	4	古い道具と昔の暮らし	人々の生活	思考判断	イ	63.4	89.0	58.2	27.3	12.6	76.4	3.2
15	4	1①	地図の読み取り	身近な地域	知識理解	ア	61.0	82.9	56.6	31.4	10.3	72.6	11.0
16	4	1②	地図の読み取り	身近な地域	知識理解	ア	52.6	76.8	46.6	21.4	6.9	69.9	21.7
17	4	2①	地図の読み取り	身近な地域	資料活用	ア	75.9	94.0	76.7	42.0	12.3	81.7	2.7
18	4	2②	地図の読み取り	身近な地域	資料活用	ア	43.3	59.2	37.9	28.3	10.8	48.4	3.0
19	4	3	地図の読み取り	身近な地域	思考判断	イ	52.8	76.6	46.0	24.0	10.5	66.1	2.6
20	4	4	地図の読み取り	身近な地域	思考判断	イ	62.3	82.1	58.4	36.4	12.3	69.8	3.2
21	5	1	グラフの読み取り	人々の生活	資料活用	ア	44.5	65.0	36.8	26.6	5.7	59.3	3.6
22	5	2	グラフの読み取り	人々の生活	資料活用	ア	80.7	90.9	84.3	59.5	11.1	79.8	3.8
23	5	3	グラフの読み取り	人々の生活	資料活用	ア	49.3	66.1	42.4	36.9	19.0	47.1	4.1
24	5	4	グラフの読み取り	人々の生活	資料活用	ア	73.9	87.5	75.2	48.3	18.0	69.5	4.2
25	6	1①	人々の生産と販売	生産の仕事	資料活用	イ	76.1	92.1	78.9	41.2	10.0	82.1	8.5
26	6	1②	人々の生産と販売	生産の仕事	資料活用	イ	74.9	93.7	76.9	36.9	6.2	87.5	10.0
27	6	2	人々の生産と販売	生産の仕事	思考判断	ア	80.0	95.4	82.7	47.9	12.1	83.3	7.9
28	6	3	人々の生産と販売	生産の仕事	思考判断	イ	70.6	94.3	69.7	28.0	5.9	88.4	11.1
29	7	1	資料の読み取り	安全を守る工夫	思考判断	ウ	83.0	94.1	83.9	64.5	29.6	64.5	3.7
30	7	2	資料の読み取り	安全を守る工夫	思考判断	ウ	45.0	65.4	41.8	13.6	2.8	62.6	13.0
31	7	3①	資料の読み取り	安全を守る工夫	資料活用	ウ	34.5	58.4	25.5	11.1	2.3	56.1	8.3
32	7	3②	資料の読み取り	安全を守る工夫	資料活用	ウ	62.8	89.4	57.3	25.6	6.9	82.5	8.6
33	7	4	資料活用	安全を守る工夫	思考判断	ウ	48.9	73.5	43.3	15.5	2.3	71.2	12.8
34	8	1	資料活用	外国とのかかわり	思考判断	ウ	40.2	65.9	32.0	10.2	2.1	63.8	11.9

分類	ア 基礎的・基本的な内容を問う問題(到達目標を含む)
	イ 基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	ウ 知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

- 知識理解** — 社会的事象についての基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) ■宮崎県の位置や地形、偉人について理解する。
■昔と今の道具の違いやそれに伴う人々の生活について理解する。
- 資料活用** — 社会的事象を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用することができるかどうかを見る問題。
(例) ■地図を読み取る。
■資料から考察し、文章で表現する。
- 思考判断** — 社会的事象の特色や相互の関連について考えることができるかどうかを見る問題。
(例) ■資料から、町の様子や安全に対する工夫について考える。
■資料から、自分の考えをもち根拠を説明する。

■ 課題等

県の特徴

- ◆ 宮崎県の地図から川の流れの方角を読み取る問題(大問1小問1①)は、設問別通過率41.4%で、観点(資料活用)の目標値75.9%をかなり下回っており、資料の読み取りに課題がある。

地域の先人

- ◇ 昨年度、設問別通過率が59.1%(大問2小問1①64.7%・小問1②53.4%の平均)であったが、本年度は68.8%(76.8%・60.7%)と9.7ポイント上がっている。

身近な地域

- ◆ 絵地図に示された地図記号を読み取る問題(大問4小問2②)は、設問別通過率43.3%で、観点(資料活用)の目標値75.9%をかなり下回っており、資料の読み取りに必要な基礎的・基本的な事項の理解に課題がある。

人々の生活

- ◆ グラフから、およそ何倍に増えているかを大まかに読み取ること(大問5小問1)や、増減を読み取ること(大問5小問4)など、割合に関する読み取りに課題がある。

生産の仕事

- ◇ 資料から人々の生産と販売について答える問題(大問6)は、領域の目標値73.8%を上回っている。

安全を守る工夫

- ◆ 資料から適切な人数を読み取る問題(大問7小問3ーア)は、設問別通過率34.5%で、領域の目標値67.0%をかなり下回っており、資料の読み取りに課題がある。
- ◆ 資料に文字で書かれてある情報を読み取り、それらを整理したりまとめたりして文章で答えることに課題がある。

外国とのかかわり

- ◆ 資料から自分の考えをもち、その考えに適した資料を選択し、根拠に基づいて自分の意見を述べることに課題がある。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類ウとの関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

県の特徴

- 宮崎県の地形や産業などの様子を読み取る学習を重視
 - ・ 宮崎県の資料から必要な情報を取り出す問題はよくできている一方、宮崎県の地形を読み取る問題の通過率は低い。宮崎県の地図や収集した資料などを活用し、宮崎県の概要や特色をとらえることができるようにすることが大切である。

身近な地域

- 地図(絵地図)の活用を重視
 - ・ 身近な地域や市・町・村の様子を地図に表したり、地図から地域や市・町・村の様子を読み取ったりする学習を積極的に取り入れることが大切である。
 - ・ 地図に表したり、地図を読み取ったりする際に必要となる方位や主な地図記号については、確実な定着を図ることが大切である。

人々の生活

- 飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理の学習では具体的な資料活用を重視
 - ・ 算数の学習との関連を図りながら、グラフから読み取れる全体的な傾向や増減に気付けさせ、およそ何倍に変化しているかなど、グラフを読み取る指導を行う必要がある。

安全を守る工夫

- 見学やインタビューなどで調査したことを適切にまとめる学習を重視
 - ・ 地域社会における災害や事故から、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々の工夫や努力を考えさせるための調査活動を行い、調べた結果や具体的な資料を効果的に活用し、工夫して表現する力を育てる指導を行う必要がある。
 - ・ 国語科の学習との関連を図りながら、収集した資料に述べられている文字情報を、箇条書きにしたり、構造図にしたりするなど、資料活用能力を育てる指導を行う必要がある。

外国とのかかわり

- 意思決定を行い、その根拠を資料から考えさせる学習の充実
 - ・ 単元計画において、価値判断の分かれる問題や課題、選択場面を設定し、自分の考えや立場を、根拠となる事実を明確にして表現する学習場面を位置付けることが大切である。
 - ・ 意見を述べる際に、個人的な意見だけでなく、資料や事実に基づいて意見を述べるよう指導することが大切である。
 - ・ 価値判断の根拠となる事実及び資料を自分で探すことは、中学年の発達の段階から考えて難しいので、教師がいくつかの資料を用意し、その資料に基づいて考えさせるような指導が大切である。

3 小学校5年:算 数

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

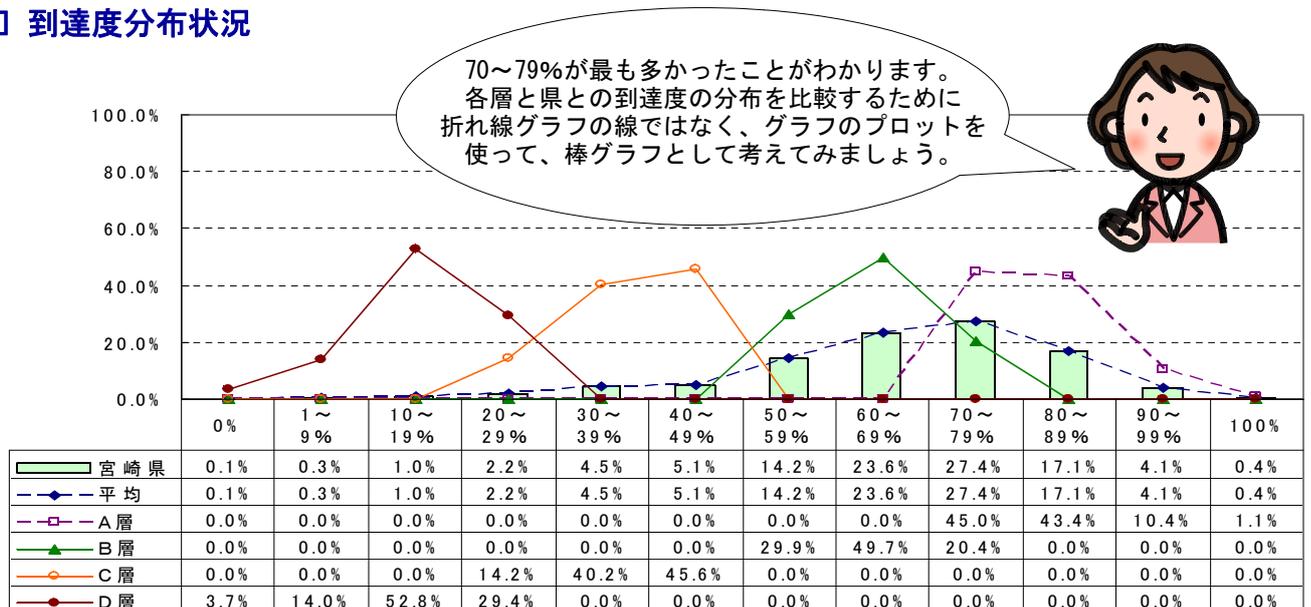
観点・領域		全県	A層	B層	C層	D層	
平均到達度	教科全体	66.9	82.4	62.8	38.9	14.7	
	表現処理	79.7	93.2	77.9	50.4	19.7	
	知識理解	73.7	88.6	70.3	44.8	16.8	
	数学的な考え方	34.7	54.7	25.2	9.9	2.7	
	数と計算	75.0	89.0	71.8	48.3	24.4	
	数量関係	75.7	92.1	72.1	44.5	12.9	
	量と測定	75.0	90.2	72.7	42.5	10.8	
	図形	46.2	63.1	39.5	22.0	7.9	
	達成率	教科全体	39.4	100.0	0.0	0.0	0.0
	表現処理	69.3	99.5	63.2	0.8	0.0	
知識理解	46.8	82.7	29.8	1.4	0.0		
数学的な考え方	12.1	30.0	0.7	0.0	0.0		
数と計算	38.4	73.8	19.6	0.3	0.0		
数量関係	64.6	95.6	55.2	6.2	0.0		
量と測定	59.5	92.2	47.9	3.9	0.0		
図形	14.2	34.6	1.3	0.0	0.0		

目標値	達成率
教科全体	75.0
表現処理	78.6
知識理解	80.0
数学的な考え方	62.9
数と計算	81.1
数量関係	74.0
量と測定	80.0
図形	65.0



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



■ 設問別解答状況一覧

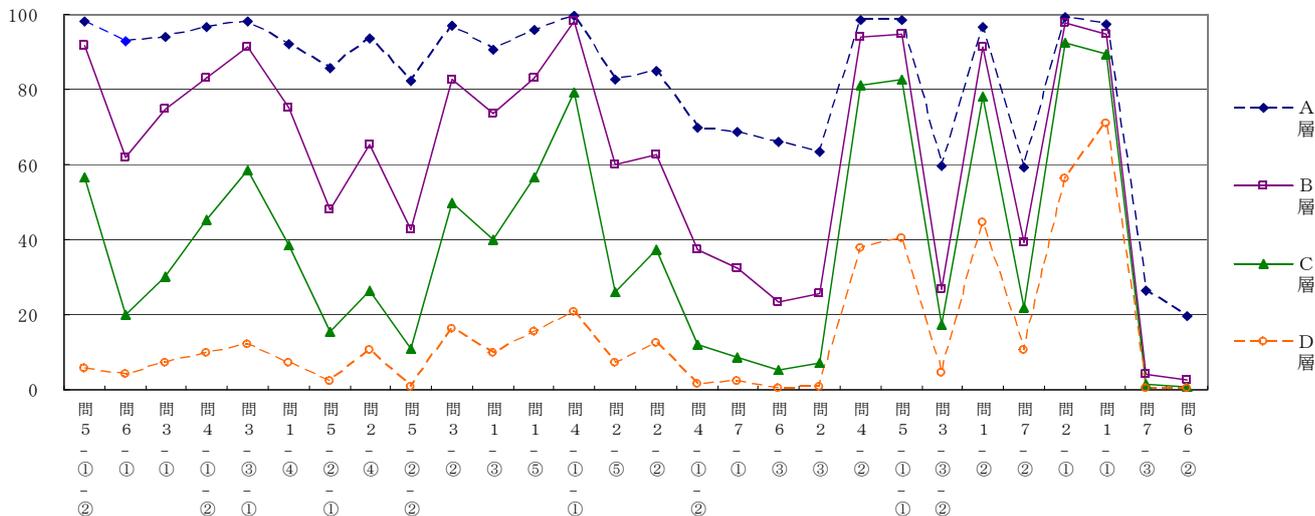
□ 設問別通過率※ A層～D層の数値は、各層の中で、設問ができた人の割合です。

(%)

問題番号	通し番号		出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層	無解答率
	大問	小問											
1	1	1	小数の加法の計算	数と計算	表現処理	ア	94.7	97.4	94.7	89.5	71.0	26.4	0.1
2	1	2	小数の減法の計算	数と計算	表現処理	ア	91.0	96.5	91.4	78.0	44.4	52.1	0.2
3	1	3	2位数×2位数の計算	数と計算	表現処理	ア	75.3	90.4	73.7	40.0	9.8	80.6	1.0
4	1	4	3位数÷1位数の計算	数と計算	表現処理	ア	76.4	92.2	75.0	38.6	7.0	85.2	1.6
5	1	5	四則の混合した計算	数量関係	表現処理	ア	84.0	96.0	83.2	56.7	15.4	80.6	1.1
6	2	1	小数の意味	数と計算	知識理解	ア	97.1	99.4	97.9	92.6	56.1	43.3	0.5
7	2	2	分数の意味	数と計算	知識理解	ア	67.7	85.0	62.7	37.2	12.6	72.4	4.8
8	2	3	十進位取り記数法の意味	数と計算	知識理解	ア	38.0	63.5	25.7	7.1	0.9	62.6	2.8
9	2	4	四捨五入による概数の表し方の範囲	数と計算	知識理解	ア	70.9	93.6	65.2	26.3	10.7	82.9	2.7
10	2	5	分数の大小	数と計算	知識理解	ア	64.1	82.8	59.9	25.9	7.0	75.8	1.4
11	3	1	分度器を使っての角の大きさの測定	量と測定	表現処理	イ	76.0	93.9	74.7	30.2	7.0	86.9	0.9
12	3	2	かさ	量と測定	表現処理	ア	83.5	97.1	82.8	49.8	16.4	80.7	0.7
13	3	3	長方形の面積	量と測定	表現処理	ア	88.9	98.2	91.5	58.6	12.1	86.1	1.4
14	3	3	長方形で構成されている図形の面積	量と測定	数学的な考え方	イ	38.2	59.5	26.9	17.3	4.7	54.8	4.6
15	4	1	円の直径と半径との関係	量と測定	知識理解	イ	95.2	99.7	98.2	79.2	20.6	79.1	1.0
16	4	1	二等辺三角形の性質	図形	知識理解	イ	82.7	96.6	82.9	45.2	9.8	86.8	3.2
17	4	1	円の性質と二等辺三角形の性質	図形	数学的な考え方	イ	46.6	69.7	37.4	12.0	1.4	68.3	9.8
18	4	2	正三角形の作図	図形	表現処理	イ	93.2	98.6	93.9	81.0	37.9	60.7	2.0
19	5	1	折れ線グラフのよみとり	数量関係	表現処理	イ	93.9	98.6	94.8	82.6	40.2	58.4	0.6
20	5	1	折れ線グラフの変化の様子	数量関係	表現処理	イ	88.7	98.1	91.8	56.6	5.6	92.5	0.7
21	5	2	数量の関係を図からよみとる	数量関係	表現処理	イ	58.3	85.6	48.0	15.4	2.3	83.3	2.4
22	5	2	数量の関係を発展的に考える	数量関係	数学的な考え方	イ	53.9	82.4	42.5	11.0	0.9	81.5	12.2
23	6	1	球の直径を求める	量と測定	表現処理	イ	68.3	92.7	62.0	20.0	4.2	88.5	4.4
24	6	2	箱を構成している面	図形	数学的な考え方	イ	9.2	19.8	2.8	0.6	0.5	19.3	8.4
25	6	3	図形を構成する要素に着目し、必要な面を選ぶ	図形	数学的な考え方	ウ	37.7	66.2	23.3	5.4	0.5	65.7	10.9
26	7	1	紙を折ってできる図形	図形	表現処理	イ	43.4	68.7	32.3	8.8	2.3	66.4	9.3
27	7	2	紙を折ってできる図形	図形	数学的な考え方	ウ	44.5	59.2	39.1	21.7	10.7	48.5	10.8
28	7	3	折り目となる直線を考える	図形	数学的な考え方	ウ	12.6	26.4	4.3	1.6	0.5	25.9	18.5

分類	ア	基礎的・基本的な内容を問う問題(到達目標を含む)
	イ	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	ウ	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



目次へ

■ 調査問題の趣旨・内容

- 表現処理** — 事象を数理的に処理し、言葉や式、グラフ、図形、数学的な用語・記号などを用いて表現することができるかどうかを見る問題。
(例) ■ 小数の加法・減法の計算をする。
■ 分度器を使って、角の大きさを測定する。
- 知識理解** — 数量や図形などに関する基礎的・基本的な内容が定着しているかどうかを見る問題。
(例) ■ 十進位取り記進数の意味を理解している。
■ 二等辺三角形の性質を理解している。
- 数学的な考え方** — 事象を数学的にとらえ、見通しをもって筋道を立てて考え、問題を解決することができるかどうかを見る問題。
(例) ■ 長方形で構成されている図形の面積を求める。
■ 折り目となる直線を考える。

■ 課題等

数と計算

- ◇ 小数の加法の計算(大問1小問1)の設問別通過率は94.7%、小数の意味(大問2小問1)は97.1%であり、領域の目標値81.1%をかなり上回っている。
- ◆ 十進位取り記数法の意味の理解について課題がある。
- ◆ 分数の大小関係の理解について課題がある。

数量関係

- ◇ 折れ線グラフの読み取りと変化の様子(大問5小問1、2)は、設問別通過率がそれぞれ93.9%、88.7%であり、領域の目標値74.0%をかなり上回っている。
- ◆ 数量の関係を図から読み取ることに課題がある。
- ◆ 数量の関係を発展的に考えることに課題がある。

量と測定

- ◇ 長方形の面積(大問3小問3)は88.9%、円の直径と半径との関係(大問4小問1)は設問別通過率95.2%であり、領域の目標値80.0%をかなり上回っている。
- ◆ 長方形で構成されている図形の面積を求めることに課題がある。
- ◆ 箱の大きさから球の直径を求めることに課題がある。

図形

- ◇ 二等辺三角形の性質(大問4小問1②)の設問別通過率は82.7%、正三角形の作図(大問4小問2)は93.2%であり、領域の目標値65.0%をかなり上回っている。
- ◆ 図形を構成している要素に着目し、立体とその展開図の面や辺の位置関係を考えることについて課題がある。
- ◆ 折った紙を切り取ってできる図形やその折り目となる直線をもとに、図形の対称性や性質を考えることについて課題がある。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類ウとの関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

数と計算

- 具体物や数直線を用いて、数の大きさをとらえることができる指導を重視
 - ・ 1000円札10枚で10000円になるなど、身の回りのものを用いて、数の相対的な大きさについて、具体的なイメージをもてるようにすることが大切である。
 - ・ 数直線や分数・小数の大きさを表した図などを利用し、数の大きさについての理解を図ることが大切である。また、一目盛りの大きさを考えて、数を読み取ることができるようにすることも大切である。

数量関係

- 言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて考える学習の充実
 - ・ いろいろなグラフを取り上げ、調べる目的を明確にし、グラフのどの部分に着目すればよいかを確認する活動を取り入れることが大切である。
 - ・ 問題を解決する際に、どの既習事項を使えばよいのかを考えたり、話し合ったりする活動を取り入れ、解決の方法を言葉や式、図、表、グラフなどを用いて説明できるようにすることが大切である。

量と測定

- 具体物等を用いた算数的活動を取り入れた指導を重視
 - ・ いろいろな具体物について調べたり、確かめたりする算数的活動を取り入れて、量の大きさについての感覚を豊かにすることが大切である。
 - ・ 既習の図形の面積の求め方をもとに、図形の特徴に着目しながら、必要な長さを選択したり、測定したりする活動を取り入れることが大切である。また、根拠となる事柄を確認する活動を取り入れたり、他の考え方を聞いたり見たりする場面を設定することも大切である。

図形

- 身の回りの事象を図形に着目して考えさせる学習の充実
 - ・ 実生活の場面で見える日常的な事象を、形や大きさ、位置関係などに着目して観察したり、実際に紙や模型などを用いて考えたりする活動を取り入れることが大切である。また、いろいろな日常的な事象について、図形として着目してとらえようとする意欲や態度を養う場面を機会あるごとに設定することも大切である。
 - ・ 図形についての観察や構成などの算数的活動を通して、図形の性質を見いだしたり、説明したりする学習を行い、既習の知識・技能を用いて考える力や表現する力を育成することが大切である。

4 小学校5年:理 科

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

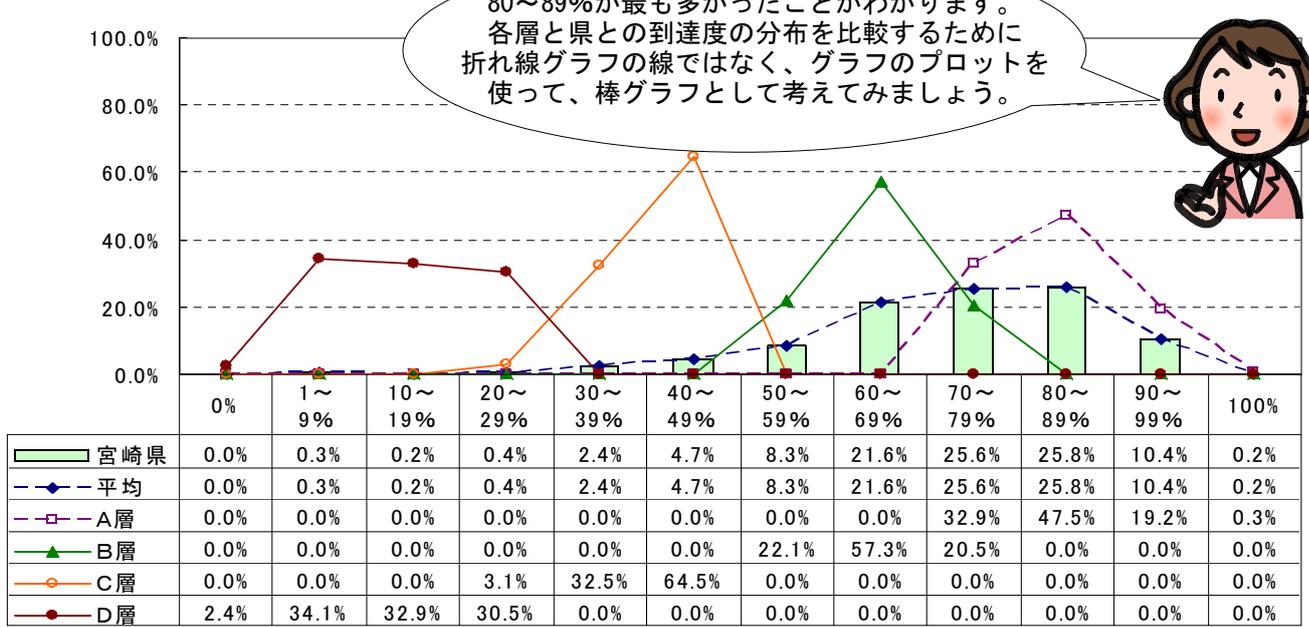
観点・領域		全県	A層	B層	C層	D層
平均到達度	教科全体	73.1	83.8	64.8	42.1	14.0
	知識・理解	78.3	88.4	71.0	47.5	16.1
	技能・表現	76.1	82.9	71.5	54.3	18.0
	科学的思考	55.9	72.3	41.2	15.0	4.7
	生物とその環境	74.9	82.1	69.7	52.5	20.7
	物質とエネルギー	73.6	87.8	62.2	33.2	9.1
	地球と宇宙	70.3	82.1	60.9	37.4	10.4
	達成率					
教科全体	54.4	100.0	0.0	0.0	0.0	
知識・理解	62.7	95.2	29.0	0.0	0.0	
技能・表現	49.9	69.1	31.4	6.4	0.0	
科学的思考	41.8	70.3	9.5	0.1	0.0	
生物とその環境	62.5	87.2	39.5	3.4	0.0	
物質とエネルギー	55.1	86.4	21.7	0.4	0.0	
地球と宇宙	45.3	73.4	14.3	0.1	0.0	

目標値	教科全体	74.7
	知識・理解	77.9
	技能・表現	77.9
	科学的思考	62.9
	生物とその環境	76.9
	物質とエネルギー	72.0
	地球と宇宙	74.5



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



■ 設問別解答状況一覧

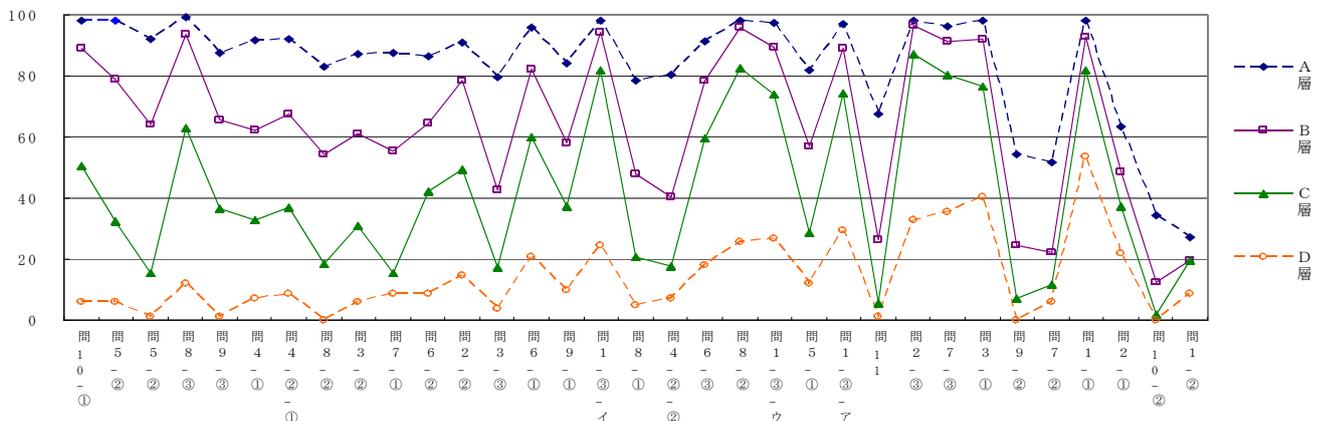
□ 設問別通過率 ※A層～D層の数值は、各層の中で設問ができた人の割合です。

(%)

問題番号		出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層	無解答率
通し番号	大問小問											
1	1 1	ホウセンカの育ち方	生物とその環境	知識・理解	ア	94.7	98.2	93.0	81.9	53.7	44.5	0.1
2	1 2	虫めがねの使い方	生物とその環境	技能・表現	ア	23.7	27.2	19.8	19.7	8.5	18.7	0.5
3	1 3	植物のからだのつくり	生物とその環境	知識・理解	ア	91.9	97.1	89.1	74.4	29.3	67.8	0.5
4	1 3	植物のからだのつくり	生物とその環境	知識・理解	ア	94.9	98.0	94.3	81.7	24.4	73.6	0.5
5	1 3	植物のからだのつくり	生物とその環境	知識・理解	ア	92.1	97.3	89.3	74.1	26.8	70.5	0.3
6	2 1	ヘチマの種	生物とその環境	知識・理解	ア	55.6	63.3	48.5	37.4	22.0	41.3	0.3
7	2 2	種のまき方	生物とその環境	技能・表現	ア	82.7	90.9	78.5	49.3	14.6	76.3	0.4
8	2 3	苗の植えかえ方	生物とその環境	技能・表現	ア	96.3	98.3	96.5	87.1	32.9	65.4	0.4
9	3 1	チョウの育ち方	生物とその環境	知識・理解	ア	93.8	98.0	92.1	76.6	40.2	57.8	0.3
10	3 2	昆虫のからだのつくり	生物とその環境	知識・理解	ア	72.8	87.2	61.3	30.8	6.1	81.1	5.3
11	3 3	昆虫のからだのつくり	生物とその環境	知識・理解	イ	60.7	79.8	42.7	17.3	3.7	76.1	3.0
12	4 1	回路のつなぎ方	物質とエネルギー	知識・理解	ア	75.8	91.7	62.4	32.7	7.3	84.4	1.9
13	4 2	電池のつなぎ方	物質とエネルギー	科学的思考	イ	78.3	92.2	67.5	36.9	8.5	83.7	0.5
14	4 2	電池のつなぎ方	物質とエネルギー	科学的思考	イ	60.3	80.4	40.5	17.8	7.3	73.1	0.5
15	5 1	日光のはねかえり方	物質とエネルギー	知識・理解	ア	68.1	82.0	56.8	28.8	12.2	69.8	0.9
16	5 2	太陽とあたたかさ	物質とエネルギー	知識・理解	ア	85.4	98.0	79.0	32.5	6.1	91.9	2.6
17	5 2	太陽とあたたかさ	物質とエネルギー	科学的思考	イ	75.3	92.2	64.0	15.4	1.2	91.0	3.8
18	6 1	空気のあたたまり方	物質とエネルギー	知識・理解	ア	87.5	95.7	82.4	59.9	20.7	75.0	0.7
19	6 2	空気のあたたまり方	物質とエネルギー	技能・表現	ア	74.4	86.5	64.5	42.4	8.5	78.0	0.6
20	6 3	空気のあたたまり方	物質とエネルギー	知識・理解	ア	83.6	91.3	78.4	59.8	18.3	73.0	0.6
21	7 1	かげの動きと太陽	地球と宇宙	科学的思考	イ	69.6	87.7	55.3	15.4	8.5	79.2	0.8
22	7 2	かげの動きと太陽	地球と宇宙	科学的思考	イ	37.5	51.8	22.3	11.8	6.1	45.7	1.4
23	7 3	温度計の目盛りの見方	地球と宇宙	技能・表現	ア	92.9	96.3	91.4	80.4	35.4	60.9	1.0
24	8 1	星の名前(夏の三大角)	地球と宇宙	知識・理解	ア	62.2	78.4	48.1	20.7	4.9	73.5	8.3
25	8 2	星の観察の仕方	地球と宇宙	技能・表現	ア	67.0	83.2	54.2	18.6	0.0	83.2	10.3
26	8 2	星の観察の仕方	地球と宇宙	技能・表現	ア	95.6	98.2	95.7	82.8	25.6	72.6	1.4
27	8 3	星の動き方	地球と宇宙	知識・理解	イ	93.8	99.1	93.5	63.2	12.2	86.9	1.5
28	9 1	水をあたためたときの変化	地球と宇宙	知識・理解	ア	70.4	84.0	58.3	37.5	9.8	74.2	1.4
29	9 2	水をあたためたときの変化	地球と宇宙	知識・理解	ア	39.3	54.2	24.7	7.1	0.0	54.2	3.2
30	9 3	水をあたためたときの変化	地球と宇宙	知識・理解	ア	75.1	87.7	65.8	36.5	1.2	86.5	3.1
31	10 1	実の中にできる種子	生物とその環境	知識・理解	ウ	90.7	98.3	89.2	50.4	6.1	92.2	3.3
32	10 2	季節と植物の成長の関係	生物とその環境	科学的思考	ウ	23.5	34.3	12.6	1.8	0.0	34.3	8.9
33	11 1	とじこめた空気と水の性質	物質とエネルギー	科学的思考	ウ	47.1	67.5	26.5	5.8	1.2	66.3	5.1

分類	ア 基礎的・基本的な内容を問う問題(到達目標を含む)
	イ 基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	ウ 知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

- 知識・理解** ー 自然の事物・現象についての基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) ■昆虫や植物のからだのつくりや成長の順序を理解する。
■水をあたためたときの変化を理解する。
- 技能・表現** ー 自然の事物・現象についての課題を追究するための観察・実験に必要な技能が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) ■温度計を正しく読む。
■虫ねがねを正しく使って細かい部分の観察ができる。
- 科学的思考** ー 自然の事物・現象の共通性や相互のかかわり、性質や変化、規則性についての見方や考え方が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) ■太陽とかげの動きを理解する。
■電池のつなぎ方とモーターカーの走り方との関係を理解する。

■ 課題等

生物とその環境

- ◇ ホウセンカの育ち方（大問1小問1）、植物のからだのつくり（大問1小問3）、チョウの育ち方（大問3小問1）、苗の植えかえ方（大問2小問3）の設問別通過率は、それぞれ94.7%、91.9%、94.9%、92.1%、96.3%で、領域の目標値76.9%をかなり上回っている。
- ◆ 虫めがねの正しい使い方に課題がある。
- ◆ ヘチマの種を選択する問題（大問2小問1）は、設問別通過率55.6%で、領域の目標値76.9%をかなり下回っている。
- ◆ 冬にトマトをハウス栽培で育てる理由を説明する問題（大問10小問2）は、設問別通過率23.5%で、観点（科学的思考）の目標値62.9%をかなり下回っている。冬のハウス栽培の理由を、空気の温度と植物の成長に関する学習と関連させて考えることに課題がある。

物質とエネルギー

- ◇ 空気の温まり方（大問6小問1）、太陽とあたたかさ（大問5小問2）の設問別通過率は、87.5%、85.4%で、領域の目標値72.0%をかなり上回っている。
- ◆ 電池のつなぎ方とモーターカーの走り方の関係の理解に課題がある。
- ◆ 光が多く重なる所が、明るくあたたかくなる理由を説明することに課題がある。
- ◆ エアポットから水が出る仕組み（大問11）を「おしちぢめられる、おしちぢめられない」など、言葉の意味を整理して現象を説明することに課題がある。

地球と宇宙

- ◇ 温度計を読むこと（大問7小問3）、星座早見の見方（大問8小問2）は、設問別通過率が92.9、95.6%で、観点（技能・表現）の目標値77.9%をかなり上回っている。
- ◆ 影の動きと太陽の動きを、方位をとらえて考察することに課題がある。
- ◆ 水をあたためたときの変化を説明することに課題がある。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類ウとの関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

生物とその環境

- 十分に時間をかけた観察や、実験の操作を身に付けさせる活動の重視
 - ・ 観察、実験を充実させるとともに、操作方法を理由を考えさせながら身に付けさせる必要がある。種子は生命の源として扱わせ、生物を愛護する態度を育てることも大切である。
- 動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりを、季節ごとに直接体験する活動の重視
 - ・ 学習内容と実生活を関連させるために、季節の変化をあらゆる機会を意識させたり、学習内容が実生活にどう生かされているかを考えさせたりする活動が大切である。
- 課題に対し、必要な知識や情報を活用させて解決し、適切に説明する学習の重視
 - ・ 課題に対して、これまで学習した内容を想起させ、新たに与えられた情報とを結び付けながら、比較させたり、関係付けさせたりしながら解決させるとともに、その過程を論理的に説明させることが大切である。

物質とエネルギー

- 電池のつなぎ方とモーターカーの走り方の関係を説明する学習の重視
 - ・ 同じ電池を直列と並列につないだときのモーターカーの走り方を、簡易検流計などを用いて、電流の強さや向きとを関連付けさせ、言葉を使って説明させる指導が重要である。
- 日光の当て方と物の明るさや暖かさの違いを説明する学習の重視
 - ・ 鏡1枚を使用したときの現象と複数枚使用したときの現象を比較させ、その違いを説明させながらとらえさせる指導が必要である。
- 空気及び水の体積の変化やおしかえす力と空気や水の性質とを関係付ける学習の重視
 - ・ 観察や実験でとらえた空気と水の性質の違いによって起きる現象を、図や絵を用いて表現させるとともに、言葉の意味を整理してとらえさせる指導が重要である。

地球と宇宙

- 方位や空間をとらえさせながら、太陽や影の位置の変化を調べる活動の重視
 - ・ 太陽や影の位置の変化を調べる活動においては、方位磁針を用いて方位を調べ、東、西、南、北で空間をとらえさせるとともに、方位については、生活との関連を図り、日常において意識できるようにする指導が大切である。
- 水蒸気の存在を推論し、水の状態変化を温度変化と関係付けてとらえさせる学習の重視
 - ・ 水が自然蒸発している変化や、空気中に水蒸気があるという見方や考え方を、実験を通してとらえさせる必要がある。目に見えない水蒸気とゆげとの違いをとらえさせるために、モデルや図を使ってまとめさせたり、説明させたりすることが大切である。

Ⅱ-2 中学校 各教科の分析

4 中学校2年:国 語

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

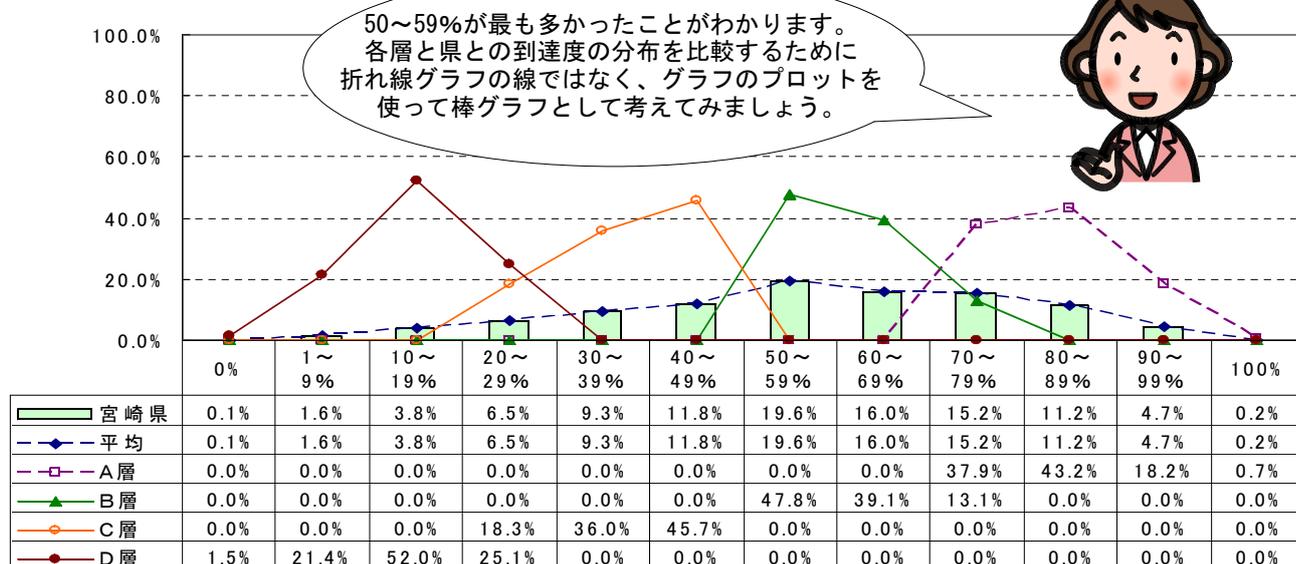
観点・領域		全県	A層	B層	C層	D層
平均到達度	教科全体	57.4	82.9	61.3	37.5	15.3
	読む能力	60.0	83.9	64.7	40.1	18.4
	書く能力	43.0	69.6	44.9	23.6	5.8
	言語についての知識・理解・技能	57.7	84.6	61.0	37.6	13.8
	読むこと	58.9	83.8	63.4	38.7	17.1
	書くこと	43.0	69.6	44.9	23.6	5.8
	言語事項	58.9	85.0	62.5	39.3	14.9
	達成率					
教科全体	26.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
読む能力	35.9	90.1	30.3	0.4	0.0	
書く能力	41.7	77.0	42.8	15.9	1.4	
言語についての知識・理解・技能	20.4	64.8	8.7	0.1	0.0	
読むこと	28.3	85.0	15.1	0.0	0.0	
書くこと	41.7	77.0	42.8	15.9	1.4	
言語事項	27.1	75.8	17.8	0.6	0.0	

目標値	教科全体	74.5
	読む能力	73.4
	書く能力	65.0
	言語についての知識・理解・技能	78.1
	読むこと	74.4
	書くこと	65.0
	言語事項	77.3



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



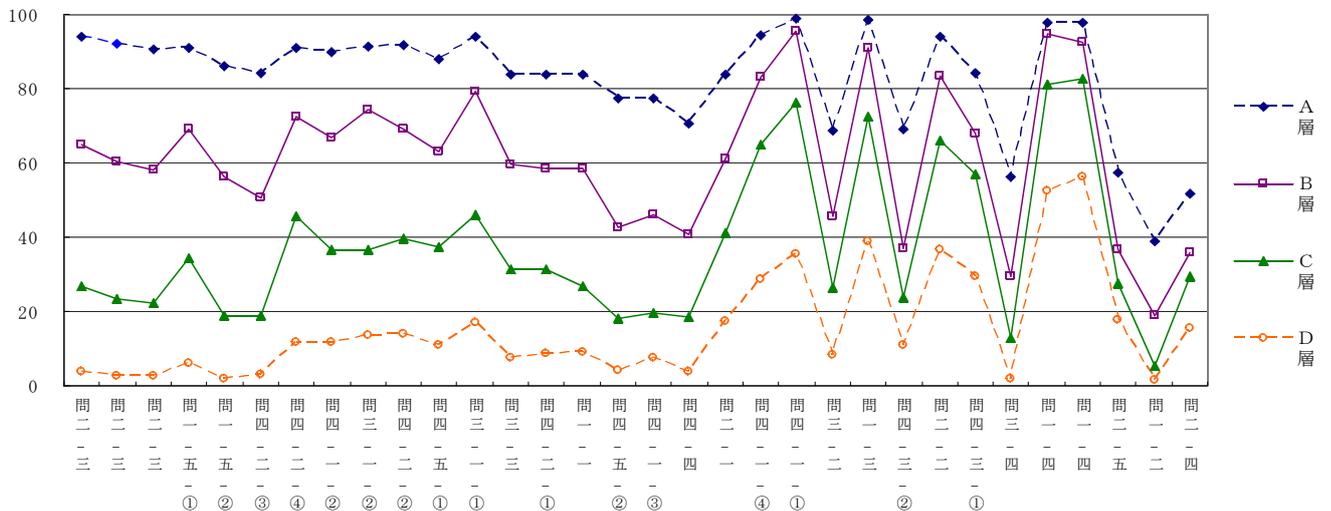
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率 ※ A層～D層の数値は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (%)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	内容の理解	読むこと	読む能力	ア	53.2	83.7	58.4	26.8	8.9	74.8	3.7
2	1	2	内容の理解・要約	読むこと	読む能力	イ	19.3	39.0	18.8	5.4	1.5	37.5	12.2
3	1	3	人物像の把握	読むこと	読む能力	イ	84.4	98.5	91.0	72.5	38.9	59.6	0.5
4	1	4	内容の理解	読むこと	読む能力	イ	88.7	97.7	92.6	82.5	56.4	41.3	0.7
5	1	4	内容の理解	読むこと	読む能力	イ	89.0	97.9	94.8	81.3	52.5	45.4	1.0
6	1	5	主題の把握	読むこと	読む能力	イ	61.2	90.8	69.1	34.3	6.2	84.6	10.4
7	1	5	主題の把握	読むこと	読む能力	イ	50.3	85.9	56.1	18.9	1.9	84.0	19.7
8	2	1	指示内容の理解	読むこと	読む能力	ア	58.7	83.7	61.3	41.1	17.3	66.4	8.0
9	2	2	適切な接続語の選択	読むこと	読む能力	ア	78.3	94.1	83.4	66.1	36.6	57.5	0.7
10	2	3	内容の理解	読むこと	読む能力	イ	53.2	90.6	58.1	22.1	2.5	88.1	9.8
11	2	3	内容の理解	読むこと	読む能力	イ	58.2	94.0	65.0	26.7	3.7	90.3	12.5
12	2	3	内容の理解	読むこと	読む能力	イ	55.0	92.2	60.4	23.5	2.8	89.4	15.0
13	2	4	段落の相互関係の理解	読むこと	読む能力	イ	36.8	51.7	35.7	29.4	15.6	36.1	2.2
14	2	5	要旨の把握	読むこと	読む能力	イ	38.3	57.2	36.5	27.7	17.8	39.4	2.7
15	3	1	資料の読み取り	読むこと	読む能力	ウ	69.8	93.8	79.1	45.9	16.9	76.9	2.4
16	3	1	資料の読み取り	読むこと	読む能力	ウ	64.6	91.3	74.3	36.7	13.5	77.8	3.4
17	3	2	資料の情報をもとにした自分の考えの記述	書くこと	書く能力	ウ	44.0	68.7	45.8	26.4	8.3	60.4	13.8
18	3	3	資料の情報をもとにした自分の考えの記述	書くこと	書く能力	ウ	54.8	83.7	59.6	31.5	7.5	76.2	20.7
19	3	4	資料の情報をもとにした自分の考えの記述	書くこと	書く能力	ウ	30.1	56.3	29.3	13.0	1.8	54.5	19.3
20	4	1	漢字の読み	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	87.0	98.9	95.4	76.4	35.4	63.5	2.4
21	4	1	漢字の読み	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	61.0	90.0	66.8	36.5	11.8	78.2	1.8
22	4	1	漢字の読み	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	44.5	77.3	46.0	19.7	7.4	69.9	15.6
23	4	1	漢字の読み	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	77.4	94.3	83.2	65.0	28.5	65.8	4.1
24	4	2	漢字の書き	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	54.4	83.8	58.4	31.4	8.5	75.3	6.5
25	4	2	漢字の書き	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	63.3	91.7	69.0	39.7	13.9	77.8	8.9
26	4	2	漢字の書き	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	47.6	84.3	50.5	18.8	3.1	81.2	24.3
27	4	2	漢字の書き	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	65.9	90.9	72.3	45.8	11.6	79.3	10.9
28	4	3	文節	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	66.6	84.3	68.0	56.9	29.3	55.0	2.4
29	4	3	修飾語	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	39.9	68.9	36.9	23.6	11.1	57.8	4.7
30	4	4	行書の特徴	言語事項	言語についての知識・理解・技能	ア	40.1	70.4	40.9	18.6	3.6	66.8	23.1
31	4	5	歴史的仮名遣い	読むこと	言語についての知識・理解・技能	ア	59.2	88.0	63.2	37.3	10.9	77.1	12.8
32	4	5	歴史的仮名遣い	読むこと	言語についての知識・理解・技能	ア	42.6	77.4	42.5	18.3	4.3	73.1	16.4

分類	ア	基礎的・基本的な内容を問う問題(到達目標を含む)
	イ	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	ウ	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

読む能力 — 書かれている内容についての理解に関する基礎的な知識や能力が身に付いているかどうかを見る問題。

(例) ■文章の展開に即して、登場人物の心情を読み取る。

■文章の構成や要旨をとらえる。

■様々な種類の資料から、必要な情報を読み取る。

書く能力 — 条件や目的に応じて書くことができるかどうかを見る問題。

(例) ■伝えたい事柄を明確にし、端的にまとめる。

■自分の表現に生かすために、必要な情報をメモする。

■身近な生活の中から課題を見つけ、自分の考えをまとめる。

言語についての知識・理解・技能 — 言語事項に関する基礎的な知識や技能が身に付いているかどうかを見る問題。

(例) ■漢字を正しく読む。漢字を正しく書く。

■文節や修飾語、行書の特徴を正しくとらえる。

■歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。

■ 課題等

読むこと

◇ 登場人物の心情や人物像を読み取り、説明として適切なものを選択肢から選ぶ問題や、適切な接続語を選択肢から選ぶ問題は設問別通過率が高く、領域の目標値を上回っている。

◆ 文章の展開に即して、内容を的確にとらえることに課題がある。

◆ 文章の構成や要旨をとらえることに課題がある。

◆ 様々な種類の資料から、必要な情報を読み取り、活用することに課題がある。

書くこと

◆ 文章の内容を整理し、条件にしたがってまとめて書くことに課題がある。

◆ 資料の情報を基に、伝えるべき内容を端的にまとめて書くことに課題がある。

◆ 資料の情報を基に、設定された課題を自分のこととしてとらえ、具体的な提案を整理して書くことに課題がある。

言語事項

◆ 日常的に使い慣れていない漢字の読みや、文脈に即した正しい漢字の書き取りに課題がある。

◆ 文の成分（修飾語）や行書の特徴をとらえる、古文を正しく音読して表記するなど、言語についての基礎的な知識や技能に課題がある。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類ウとの関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

読むこと

- 文章の構成や要旨をとらえ、読み取った内容をまとめる言語活動の充実
 - ・ 「全体から部分へ」という授業展開などにより、文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考える活動を充実することが大切である。
 - ・ 文章の内容や表現の仕方について、根拠を明確にししながら自分の考えを述べたり、書いたりする活動を充実することが大切である。
- 資料から必要な情報を集め、効果的に活用する言語活動の充実
 - ・ 読むことによって、何を得て、どう活用するのかという意識をもちながら読み、内容をまとめる活動を充実することが大切である。

書くこと

- 文章や資料を基に伝えたい内容をまとめ、条件にしたがって書く言語活動の充実
 - ・ 文章や資料から大事なことを取り出し、気付いたことや考えたことを簡潔にまとめる活動を充実することが大切である。
 - ・ 文章や資料を読み取るだけでなく、読み取ったことを自分の学習や生活に生かす活動を充実することが大切である。
 - ・ 伝えるべき内容が正しく伝わるよう、相手や目的に応じて内容を整理したり、表現を工夫したりする活動を充実することが大切である。

言語事項

- 基礎的な言語事項の定着を図り、ことばについての意識を高める指導の重視
 - ・ 日常生活の中で使用頻度が低いと思われる語句であっても、文章の中から取り出して指導したり、幅広い読書活動をさせたりして、より多くのことばに触れ、語彙を広げようとする意識を高める指導の工夫が必要である。
 - ・ 書写の指導においては、楷書や行書に対する知識や技能を高め、文字を丁寧に書く意識や態度を育成する指導の工夫が必要である。
 - ・ 文法の指導においては、文脈におけることばの働きに着目させ、理解したことをさらに他の言語活動に生かす指導の工夫が大切である。
 - ・ 古文の指導においては、音読・朗読を重視することにより、古文特有のリズムに親しませながら、古語のきまりを習得させる指導の工夫が必要である。

2 中学校2年:社 会

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

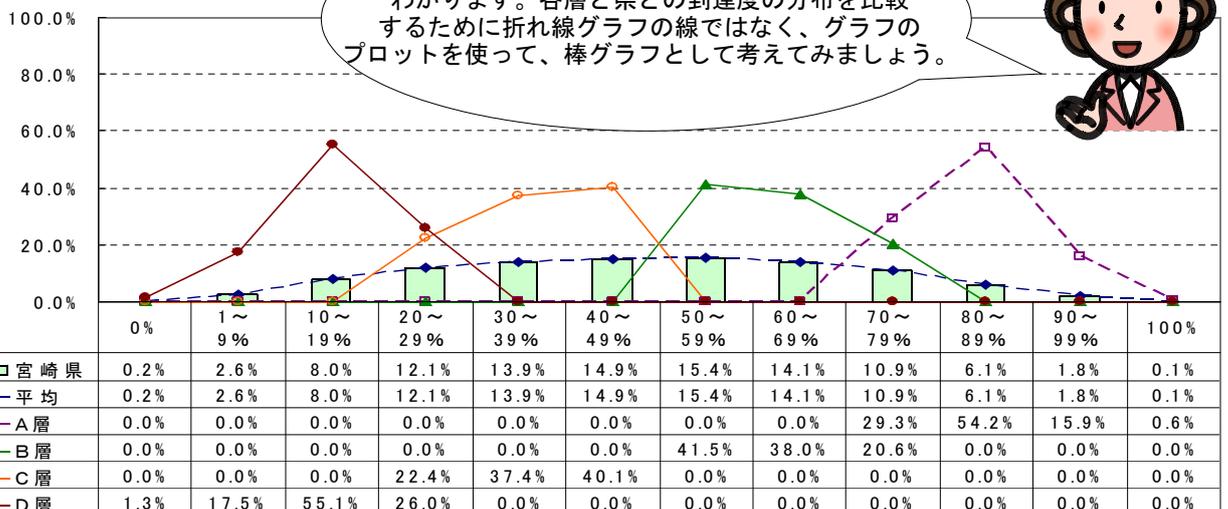
観点・領域		全県	A層	B層	C層	D層
平均到達度	教科全体	48.7	83.1	62.2	37.6	16.4
	知識理解	53.2	86.3	67.3	41.8	20.8
	資料活用	56.4	89.2	71.9	45.9	18.6
	思考判断	35.3	73.2	46.0	24.1	7.4
	世界と日本の地域構成	55.3	89.0	69.6	43.7	22.9
	地域の規模に応じた調査	43.8	78.3	54.8	34.2	13.5
	古代までの日本	58.5	86.3	71.4	49.6	27.2
	中世の日本	44.4	80.3	58.8	32.0	11.5
	近世の日本	46.4	86.7	62.1	33.0	9.6
	達成率	教科全体	18.8	100.0	20.6	0.0
知識理解	18.1	87.9	22.4	0.0	0.0	
資料活用	42.3	97.3	69.6	15.0	0.1	
思考判断	15.7	78.7	17.8	0.7	0.0	
世界と日本の地域構成	39.5	96.9	63.0	13.8	0.7	
地域の規模に応じた調査	17.3	77.2	21.2	2.1	0.0	
古代までの日本	16.8	54.5	23.8	4.9	0.3	
中世の日本	15.6	75.8	19.0	0.3	0.0	
近世の日本	14.6	63.4	18.6	1.6	0.0	

目標値	達成率
教科全体	70.0
知識理解	75.7
資料活用	66.4
思考判断	63.3
世界と日本の地域構成	71.4
地域の規模に応じた調査	65.6
古代までの日本	76.3
中世の日本	68.9
近世の日本	73.3



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



■ 設問別解答状況一覧

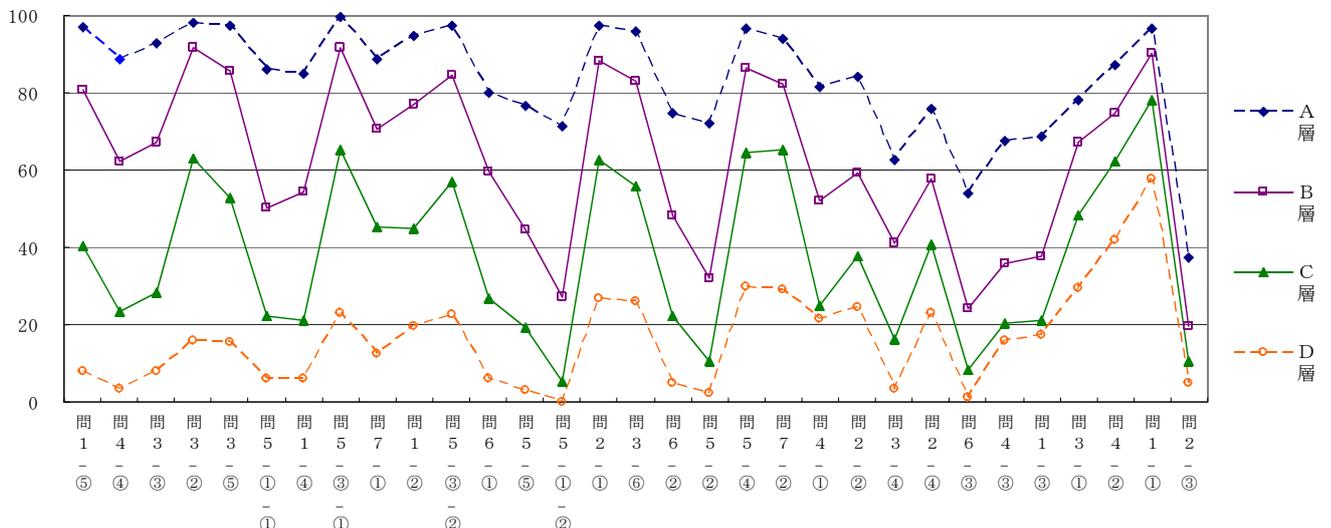
□ 設問別通過率※ A層～D層の数値は、各層の中で、設問ができた人の割合です。

(%)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	海洋名	世界と日本の地域構成	知識理解	ア	81.8	96.6	90.2	78.3	57.6	39.0	1.4
2	1	2	大陸名	世界と日本の地域構成	知識理解	ア	58.7	94.9	77.1	44.8	19.6	75.3	2.1
3	1	3	緯度と経度	世界と日本の地域構成	知識理解	イ	32.0	68.6	37.7	21.0	17.4	51.2	1.1
4	1	4	時差	世界と日本の地域構成	知識理解	イ	38.3	84.9	54.2	21.0	6.0	78.9	11.4
5	1	5	緯線と経線	世界と日本の地域構成	知識活用	ア	57.0	96.9	80.9	40.3	8.0	88.9	18.8
6	2	1	経済水域	世界と日本の地域構成	知識理解	ア	70.8	97.4	88.2	62.5	26.9	70.5	3.8
7	2	2	都道府県の構成と地域区分	世界と日本の地域構成	資料活用	ア	48.9	84.0	59.1	37.7	24.7	59.3	1.3
8	2	3	地形図の読み取り	地域の規模に応じた調査	思考判断	イ	16.1	37.4	19.6	10.6	4.9	32.5	15.8
9	2	4	グラフの読み取り	地域の規模に応じた調査	資料活用	イ	48.4	75.9	57.7	40.8	23.0	52.9	3.1
10	3	1	弥生文化	古代までの日本	知識理解	ア	55.8	78.3	67.0	48.2	29.6	48.7	0.7
11	3	2	撰関政治	古代までの日本	資料活用	イ	70.7	98.2	91.7	62.9	15.8	82.4	14.4
12	3	3	鎌倉時代の文化	中世の日本	知識理解	ア	47.0	92.8	67.2	28.4	8.0	84.8	26.2
13	3	4	日明貿易	中世の日本	知識理解	イ	28.8	62.7	41.2	16.2	3.4	59.3	17.9
14	3	5	豊臣秀吉と刀狩	中世の日本	知識理解	ア	64.6	97.3	85.7	53.0	15.4	81.9	9.6
15	3	6	刀狩	中世の日本	資料活用	イ	66.0	96.0	82.9	55.7	26.0	70.0	1.2
16	4	1	飛鳥文化	古代までの日本	知識理解	ア	40.9	81.4	52.1	25.0	21.6	59.8	0.8
17	4	2	浄土信仰	古代までの日本	知識理解	ア	66.7	87.2	74.8	62.2	41.9	45.3	1.0
18	4	3	室町時代の文化と応仁の乱	中世の日本	知識理解	ア	30.7	67.7	35.7	20.4	16.0	51.7	1.7
19	4	4	ヨーロッパ人の来航	近世の日本	知識理解	ア	42.3	88.6	62.4	23.5	3.5	85.1	24.6
20	5	1	東京都の面積に対する疑問	地域の規模に応じた調査	思考判断	イ	37.3	86.1	50.1	22.2	6.1	80.0	21.4
21	5	1	東京都の面積の疑問に対する仮説	地域の規模に応じた調査	思考判断	イ	20.1	71.5	27.0	5.4	0.1	71.4	31.7
22	5	2	江戸幕府の政治の特色	近世の日本	思考判断	イ	24.2	72.0	32.1	10.5	2.3	69.7	40.5
23	5	3	江戸幕府の成立	近世の日本	知識理解	ア	72.7	99.5	91.7	65.2	23.1	76.4	2.9
24	5	3	織田信長の統一事業	中世の日本	知識理解	ア	66.8	97.2	84.6	57.1	22.5	74.7	3.2
25	5	4	都道府県の調査	地域の規模に応じた調査	資料活用	イ	71.2	96.7	86.5	64.5	29.8	66.9	4.6
26	5	5	都道府県の調査	地域の規模に応じた調査	資料活用	イ	32.8	76.6	44.7	19.4	3.0	73.6	20.6
27	6	1	鎌倉幕府の成立	中世の日本	思考判断	ウ	41.9	80.0	59.6	26.9	5.9	74.1	13.9
28	6	2	鎌倉幕府の成立	中世の日本	思考判断	ウ	35.3	74.8	48.2	22.3	4.9	69.9	16.1
29	6	3	武家政権の特色	中世の日本	思考判断	ウ	18.3	54.0	24.3	8.4	1.1	52.9	23.8
30	7	1	地域の観光の振興	地域の規模に応じた調査	思考判断	ウ	54.9	88.5	70.7	45.4	12.6	75.9	17.5
31	7	2	本県の観光の振興	地域の規模に応じた調査	思考判断	ウ	69.4	94.0	82.1	65.3	28.9	65.1	13.8

ア	基礎的・基本的な内容を問う問題(到達目標を含む)
イ	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
ウ	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

- 知識理解** — 地理的・歴史的事象についての基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) ■海洋名や大陸名、日本の領土を理解する。
■弥生文化や室町時代の社会のようすについて理解する。
- 資料活用** — 地理的・歴史的事象を調査し、地形図やグラフ、系図など各種の具体的資料から情報を読み取り、活用することができるかどうかを見る問題。
(例) ■地形図を基に、地域の変化の原因を読み取る。
■藤原氏と天皇家の関係系図から摂関政治について説明する。
- 思考判断** — 複数の資料から関連や背景を読み取り、多面的・多角的に考察することができるかどうかを見る問題。
(例) ■学習のテーマや各種の資料を基に、発表の際のタイトルを考える。
■観光に関する資料を参考にして、本県の観光の振興について考える。

■ 課題等

世界と日本の地域構成

- ◆ 日本の正反対側に位置する地点の緯度と経度をもとに、日本の緯度と経度を読み取ることに課題がある。
- ◆ アフリカ北部の地図を見て、緯線や経線の利用方法を読み取ることに課題がある。
- ◇ 日本の領土に関する資料をもとに、経済水域を答える問題（大問2小問1）については、設問別通過率70.8%であり、領域の目標値71.4%とほぼ同じである。

地域の規模に応じた調査

- ◆ 地形図を基に、地域の変化の原因を正確に読み取ることに課題がある。
- ◆ 東京都の面積の変化に関する疑問に対して、仮説を設定することに課題がある。
- ◆ 各県の菊の出荷量に関するグラフを基に、沖縄県の出荷の特色を説明することに課題がある。

古代までの日本

- ◆ 中国から金印が授けられたころの弥生文化の特色に関する理解に課題がある。
- ◆ 大陸の文化を積極的に取り入れた飛鳥文化の特色に関する理解に課題がある。

中世の日本

- ◆ 東アジアとのかかわりを示す資料を参考にして、当時の貿易の特色と結び付けて考えることに課題がある。
- ◆ 与えられた資料を基に、武家政権の特色を説明することに課題がある。

近世の日本

- ◇ 江戸幕府の成立を答える問題（大問5小問3）については、設問別通過率72.7%であり、領域の目標値73.3%とほぼ同じである。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類ウとの関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

世界と日本の地域構成

○ 地球儀や様々な地図の活用を重視

- ・ 地球儀や地図などを使った学習を積極的に取り入れて、大陸や海洋などの位置を読み取らせることが大切である。
- ・ 緯度と経度、時差などに関する基礎的な技能や知識を確実に身に付けさせることが大切である。

地域の規模に応じた調査

○ 地形図やグラフなどの資料を様々な角度から読み取る学習を重視

- ・ 地形図を読み取るための基本的な知識(縮尺、方位、地図記号等)や、統計グラフに示されたデータの内容を正確に読み取る力を身に付けさせることが必要である。

○ 資料から仮説を立てたり、調査してまとめたりする学習を重視

- ・ 地理的分野の学習では、資料を活用する中で、なぜこの地域にはこのような地理的事象が見られるのかという問いかけを基にした、課題を発見する学習を通して、地理的な見方や考え方の基礎を培うことが大切である。

古代までの日本

○ 関心のある主題を設定しまとめる活動を通して、歴史を学ぶ意欲を高めることを重視

- ・ 歴史的分野の学習では、関心のある主題を設定し、各種の資料を活用しながらまとめる作業的な学習を通して、歴史的事象の特色や変化を気付かせながら、学習させることが大切である。また、文化遺産などの代表的な事例を取り上げる際には、生徒の関心を高めるよう工夫することも大切である。

中世の日本

○ 資料から読み取る力を身に付ける学習を重視

- ・ 歴史的資料を授業で扱う際に、その名称や作者などを覚えることに終始するのではなく、資料が示している時代背景や、政治・経済・文化との関連など、資料から多面的・多角的な内容を読み取る力を身に付けさせることが大切である。

近世の日本

○ 歴史的事象と地理的事象を関連させる学習を重視

- ・ 歴史的事象の指導に当たっては、歴史の舞台と地理的な事柄とのかかわりを配慮したり、地理的条件に着目して取り扱ったりするなど、歴史と地理の連携を踏まえた工夫により、多面的・多角的な見方・考え方を身に付けさせることが大切である。
- ・ 中世や近世以降の歴史的事象は、身近な地域の地理や歴史、今日の日本人の生活様式に関連付けて指導できる内容も多いことから、歴史の学習を一層身近なものとし、生活と密接なつながりをもった学習として展開することが必要である。

3 中学校2年:数 学

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

観点・領域		全県	A層	B層	C層	D層
平均到達度	教科全体	43.1	84.0	59.3	38.0	16.4
	表現・処理	51.4	91.6	69.9	46.8	18.6
	知識・理解	59.0	92.5	76.8	54.5	29.5
	数学的な考え方	18.8	66.6	30.7	12.6	2.8
	数と式	54.8	92.5	71.0	51.2	23.8
	数量関係	28.0	76.1	47.7	19.8	4.1
	図形	43.8	79.6	55.1	40.7	20.9
達成率	教科全体	7.1	100.0	9.3	0.0	0.0
	表現・処理	10.7	96.9	22.7	0.1	0.0
	知識・理解	27.9	96.7	63.4	10.6	0.1
	数学的な考え方	3.6	68.1	2.0	0.0	0.0
	数と式	12.0	95.8	26.8	0.4	0.0
	数量関係	7.6	87.1	13.2	0.0	0.0
	図形	6.9	78.3	11.6	0.2	0.0

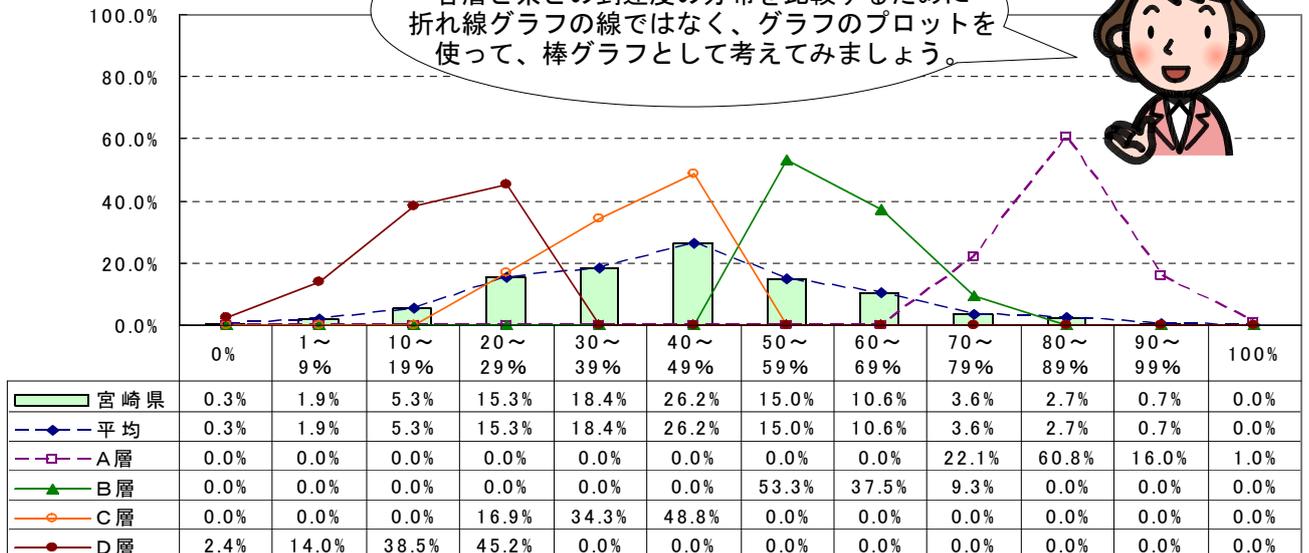
目標値	教科全体	70.0
	表現・処理	74.7
	知識・理解	77.2
	数学的な考え方	57.7
	数と式	78.0
	数量関係	62.1
	図形	66.9



達成率を見ると、
集団全体と各層で、
設定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況

40~49%が最も多かったことがわかります。
各層と県との到達度の分布を比較するために
折れ線グラフの線ではなく、グラフのプロットを
使って、棒グラフとして考えてみましょう。



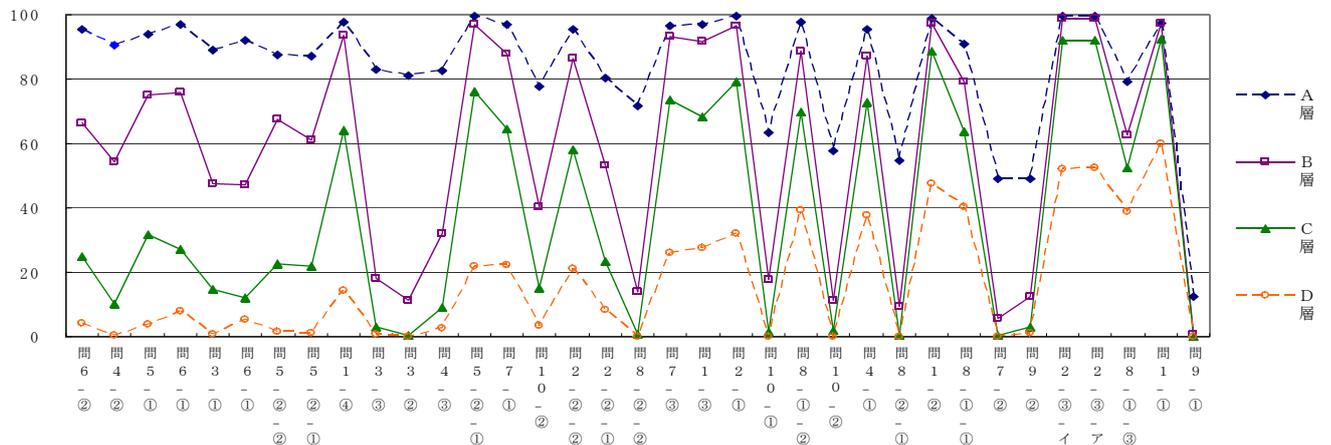
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率※ A層～D層の数値は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (％)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	正の数、負の数の加法	数と式	表現・処理	ア	89.6	97.3	97.4	92.5	60.0	37.3	0.4
2	1	2	数の減法・乗法の計算	数と式	表現・処理	ア	86.0	98.8	97.4	88.8	47.4	51.4	0.4
3	1	3	数の累乗と乗法計算	数と式	表現・処理	ア	70.5	97.1	91.6	68.3	27.5	69.6	1.1
4	1	4	文字式の計算	数と式	表現・処理	ア	67.1	97.9	93.7	64.2	14.2	83.7	2.8
5	2	1	負の数の意味	数と式	表現・処理	ア	78.5	99.8	96.5	79.1	32.2	67.6	4.6
6	2	2	数の種類	数と式	知識・理解	ア	32.3	80.2	53.1	23.5	8.3	71.9	1.4
7	2	2	数の大小関係	数と式	知識・理解	ア	62.7	95.6	86.4	58.1	21.2	74.4	1.6
8	2	3	文字式の意味	数と式	知識・理解	ア	88.7	99.6	98.9	91.9	52.3	47.3	2.2
9	2	3	文字式の意味	数と式	知識・理解	ア	88.7	99.8	98.9	91.9	51.9	47.9	2.2
10	3	1	文字式の利用	数と式	表現・処理	ア	25.3	89.2	47.5	14.7	0.9	88.3	20.9
11	3	2	一次方程式の立式	数と式	表現・処理	イ	7.0	81.3	11.2	0.3	0.1	81.2	43.5
12	3	3	一次方程式の解法	数と式	表現・処理	イ	10.5	83.1	18.2	2.9	0.7	82.4	50.9
13	4	1	数の増え方の規則性	数と式	表現・処理	ア	73.0	95.4	87.2	72.7	37.7	57.7	1.9
14	4	2	文字式の利用	数と式	数学的な考え方	イ	24.8	90.6	54.2	10.1	0.4	90.2	17.9
15	4	3	条件指定の理解	数と式	数学的な考え方	イ	17.9	82.5	32.1	9.0	2.7	79.8	17.1
16	5	1	方程式の解の意味	数量関係	表現・処理	ア	42.8	94.0	75.0	31.6	3.8	90.2	14.1
17	5	2	一次方程式の解法	数量関係	数学的な考え方	イ	75.5	99.6	96.9	76.2	21.7	77.9	9.3
18	5	2	等式の性質	数量関係	数学的な考え方	イ	32.8	87.1	61.0	21.7	1.1	86.0	23.5
19	5	2	一次方程式の解法	数量関係	表現・処理	イ	35.3	87.7	67.5	22.7	1.4	86.3	24.1
20	6	1	比例の意味	数量関係	知識・理解	ア	24.5	91.9	47.2	11.9	5.2	86.7	3.7
21	6	1	反比例の意味	数量関係	知識・理解	ア	41.3	97.1	75.8	27.1	7.9	89.2	3.9
22	6	2	反比例のグラフ	数量関係	表現・処理	ア	36.8	95.4	66.4	24.8	4.3	91.1	10.6
23	7	1	点対称な図形の作図	図形	表現・処理	ア	66.7	97.1	88.0	64.4	22.4	74.7	1.8
24	7	2	図形の面積	図形	数学的な考え方	ア	3.9	49.0	5.7	0.3	0.0	49.0	55.5
25	7	3	垂線の作図	図形	表現・処理	ア	73.6	96.7	93.2	73.5	26.2	70.5	12.0
26	8	1	空間における平面の定義	図形	知識・理解	ア	66.1	91.0	79.1	63.9	40.4	50.6	3.0
27	8	1	空間における平面の定義	図形	知識・理解	ア	72.3	97.9	88.8	70.0	39.4	58.5	3.0
28	8	1	空間における平面の定義	図形	知識・理解	ア	54.6	79.2	62.6	52.3	39.0	40.2	3.1
29	8	2	立体の側面積	図形	数学的な考え方	イ	5.3	54.6	9.3	0.4	0.0	54.6	33.4
30	8	2	立体の体積	図形	数学的な考え方	イ	7.6	71.7	14.0	0.8	0.0	71.7	37.9
31	9	1	数量関係の立式	数量関係	数学的な考え方	ア	0.8	12.5	0.7	0.1	0.0	12.5	21.6
32	9	2	数量比較	数量関係	数学的な考え方	ウ	7.5	49.2	12.4	3.2	1.0	48.2	29.9
33	10	1	事象の中の数量関係	数量関係	表現・処理	ウ	8.6	63.3	17.7	1.4	0.0	63.3	19.1
34	10	2	事象の中の数量関係	数量関係	数学的な考え方	ウ	6.7	57.9	11.2	1.8	0.1	57.8	67.6
35	10	2	事象の中の数量関係	数量関係	数学的な考え方	ウ	23.4	77.9	40.3	15.1	3.3	74.6	43.5

分類	ア	基礎的・基本的な内容を問う問題(到達目標を含む)
	イ	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	ウ	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



目次へ

■ 調査問題の趣旨・内容

- 表現・処理** — 事象を数理的に処理し、文字式、グラフ、作図などを用いて表現することができるかどうかを見る問題。
(例) ■数の四則計算、図形の面積や体積を求める。
■反比例のグラフをかくことや垂線を作図する。
- 知識・理解** — 数と式、数量関係、図形領域における基礎的・基本的な内容を理解しているかどうかを見る問題。
(例) ■数の大小関係や文字式の意味を理解する。
■比例、反比例の関係について理解する。
- 見方・考え方** — 事象を数学的にとらえ、数式や数量関係を用いて、論理的に問題を解決することができるかどうかを見る問題。
(例) ■計算した値を用いて、論理的に説明する。
■一次方程式を用いて、問題の解決を図る。

■ 課題等

数と式

- ◇ 正負の数の加法を問う問題(大問1小問1)については、設問別通過率89.6%であり、領域の目標値78.0%をかなり上回っている。
- ◇ 数の減法・乗法および負の数の意味を問う問題(大問1小問2、大問2小問3)については、設問別通過率がそれぞれ86.0%、88.7%であり、領域の目標値78.0%をかなり上回っている。
- ◆ 数の種類を判断することに課題がある。
- ◆ 一次方程式を使って、数学的に表現・処理することに課題がある。
- ◆ 文字式を用いて表現することに課題がある。
- ◆ 与えられた条件を基に文字式を用いることに課題がある。(大問4小問3)

数量関係

- ◇ 一次方程式の解法を問う問題(大問5小問2)については、設問別通過率75.5%であり、領域の目標値62.1%をかなり上回っている。
- ◆ 比例や反比例の関係を理解することに課題がある。
- ◆ 事象の中の数量関係を把握し、問題を解決することに課題がある。(大問3)
- ◆ 具体的な数値を用いて比較、判断、表現することに課題がある。(大問9)
- ◆ 事象の中の数量関係を方程式を用いて、問題を解決することに課題がある。(大問10)

図形

- ◇ 垂線の作図を問う問題(大問7小問3)については、設問別通過率73.6%であり、領域の目標値66.9%を上回っている。
- ◇ 空間における平面の定義を問う問題(大問8小問1)については、設問別通過率72.3%であり、領域の目標値66.9%を上回っている。
- ◆ 図形の面積および立体の側面積や、体積を求めることに課題がある。(大問8小問2)

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類ウとの関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

数と式

○ 基礎・基本事項の定着と計算技能の習熟の重視

- ・ 負の数や指数を含む四則計算を確実に定着させることが大切である。また、式の値における負の数の代入処理を確実に理解させる必要がある。
- ・ 数の種類と大小関係、絶対値の意味について確実に理解させることが大切である。
- ・ 様々な事象を文字式で表現することや、文字式の表す意味を具体的な事象に関連させて理解させることが重要である。

○ 方程式の表す意味と具体的な場面との関係を理解させる学習の充実

- ・ 一次方程式の意味を理解させた上で、具体的な問題において、立式させ、その解を求めることができるように指導することが大切である。
- ・ 文字式の意味を理解させ、具体的な場面において、数値や文字を用いて説明できるように指導することが重要である。

数量関係

○ 比例、反比例の意味の理解とグラフの重視

- ・ 事象の中における比例や反比例の関係を見出すことができるように指導することが大切である。また2つの数量の変化や対応関係の特徴を、表、式やグラフを用いて理解させることが重要である。
- ・ 事象の中における課題を、数学的な見方や考え方でとらえ、その解決を図るために、値や式を用いることで、比較・分析したり、判断・説明したりできるように指導することが重要である。
- ・ 条件や数値、単位など問題文の読み取り方を指導するとともに、問題解決へ向けての方針の立て方および解法に向けての計算力、記述力を身に付けさせることが大切である。

図形

○ 平面及び空間における基本事項の定着と面積や体積を求める計算を習熟させる学習の充実

- ・ 平面や空間図形の基本性質を理解させ、身近な事象を図形の性質と関連させながらとらえさせることが必要である。
- ・ 作図の基本的な技能を身に付けさせ、図形に関する見方や考え方を深め、論理的に考えさせるように指導することが大切である。
- ・ 基本的な面積の求め方を理解させることや、図形の中の対称性や等しい面積の関係に気付かせること、考察したことを用いて面積を求めることができるように指導することが重要である。
- ・ 立体を平面図形の動きとして理解させ、基本的な立体の体積を求めることができるように指導することが大切である。

4 中学校2年:理 科

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

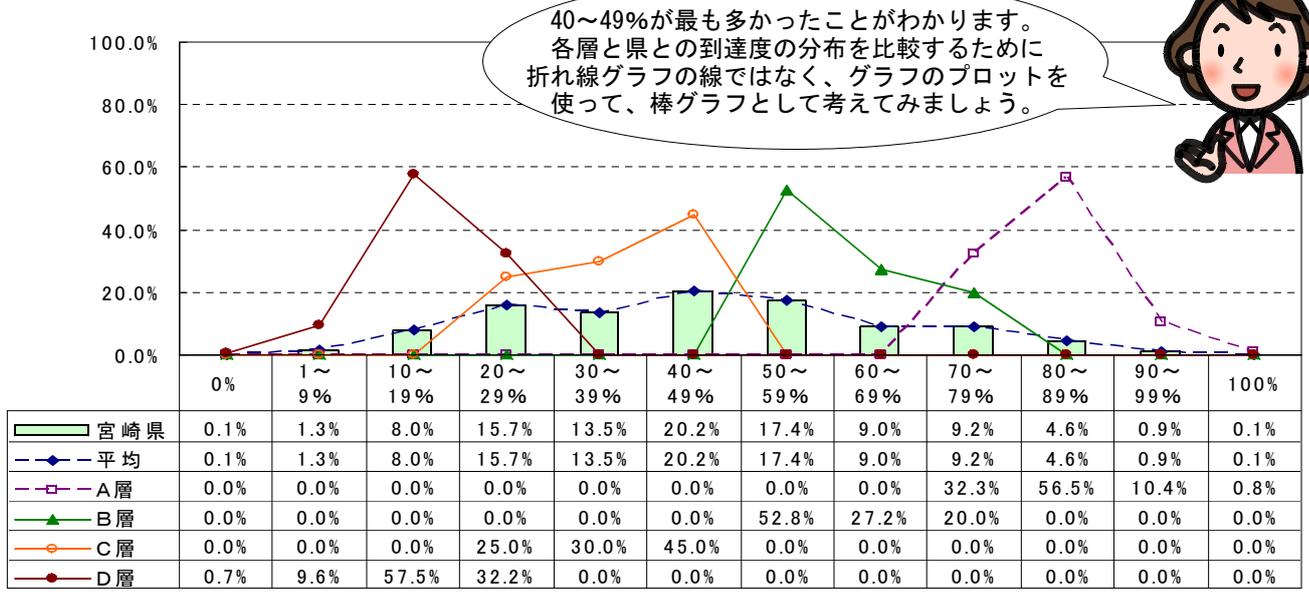
観点・領域		全県	A層	B層	C層	D層
平均到達度	教科全体	46.2	83.3	61.2	37.6	16.8
	知識・理解	51.2	84.5	64.9	44.1	21.8
	技能・表現	61.4	93.4	79.8	54.5	21.4
	科学的な思考	33.1	79.3	50.4	20.8	4.9
	植物の生活と種類	54.6	87.2	70.6	46.5	23.4
	大地の変化	50.6	86.8	67.5	42.0	16.7
	身の回りの物質	43.8	87.1	61.1	33.5	10.8
	身近な物理現象	36.2	74.5	47.1	28.0	13.9
達成率	教科全体	18.8	100.0	32.1	0.0	0.0
	知識・理解	18.4	98.8	31.0	0.1	0.0
	技能・表現	61.4	93.4	79.8	54.5	21.4
	科学的な思考	20.8	95.1	37.4	1.5	0.0
	植物の生活と種類	30.5	94.9	57.3	8.5	0.0
	大地の変化	39.9	98.2	71.1	18.7	0.1
	身の回りの物質	20.1	87.9	34.2	3.6	0.0
	身近な物理現象	16.8	89.7	26.3	1.8	0.0

目標値	教科全体	知識・理解	技能・表現	科学的な思考
	66.7	71.4	80.0	54.4
	植物の生活と種類	71.9		
	大地の変化	66.7		
	身の回りの物質	66.0		
	身近な物理現象	61.9		



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



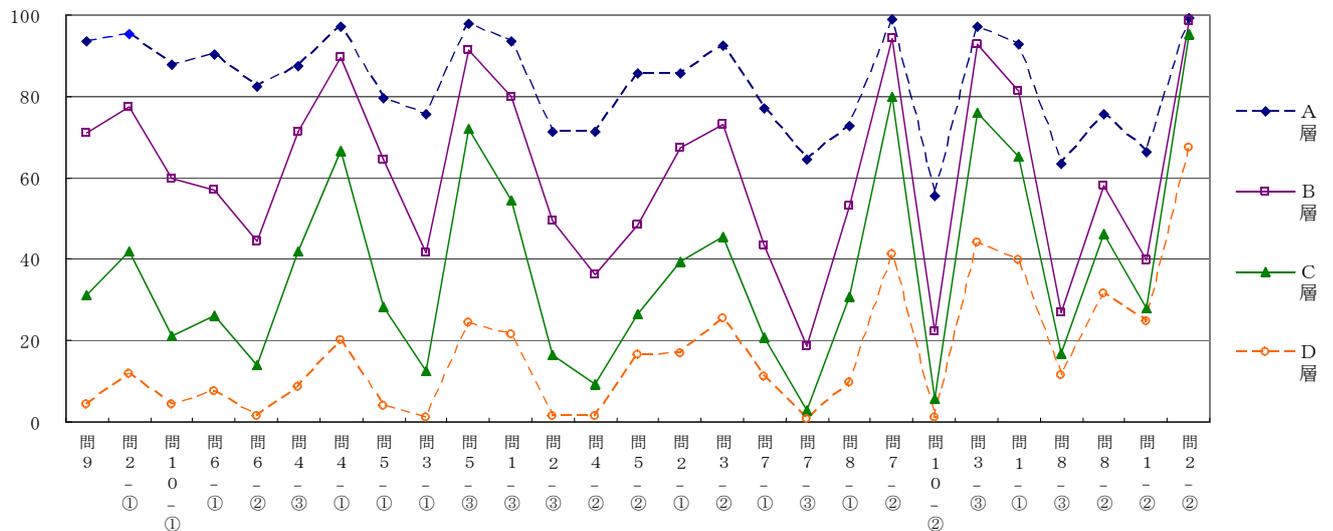
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率 ※ A層～D層の数値は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (％)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層～D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	ルーペの使い方	植物の生活と種類	知識・理解	ア	69.4	92.7	81.5	65.3	39.8	52.9	0.1
2	1	2	顕微鏡の操作	植物の生活と種類	知識・理解	ア	34.5	66.2	39.7	28.0	24.8	41.4	0.2
3	1	3	顕微鏡の操作	植物の生活と種類	技能・表現	ア	61.4	93.4	79.8	54.5	21.4	72.0	0.2
4	2	1	葉のつくり	植物の生活と種類	知識・理解	ア	49.3	85.5	67.5	39.4	16.7	68.8	1.6
5	2	1	葉のつくり	植物の生活と種類	知識・理解	ア	53.7	95.3	77.4	41.8	11.9	83.4	6.1
6	2	2	植物の光合成と呼吸	植物の生活と種類	知識・理解	ア	92.8	99.4	98.6	95.2	67.4	32.0	2.4
7	2	3	植物の光合成と呼吸	植物の生活と種類	科学的な思考	イ	29.7	71.5	49.4	16.4	1.3	70.2	12.8
8	3	1	たい積岩の特徴	大地の変化	知識・理解	ア	25.7	75.5	41.7	12.4	1.2	74.3	5.6
9	3	2	地層のでき方	大地の変化	知識・理解	ア	55.7	92.6	73.2	45.5	25.3	67.3	0.8
10	3	3	地層と過去のようす	大地の変化	知識・理解	ア	78.8	97.1	92.7	76.0	44.0	53.1	0.6
11	4	1	震源について	大地の変化	知識・理解	ア	70.3	97.2	89.5	66.8	19.9	77.3	6.1
12	4	2	揺れの伝わり方	大地の変化	科学的な思考	イ	22.2	71.2	36.2	9.4	1.3	69.9	8.2
13	4	3	揺れの伝わり方	大地の変化	科学的な思考	イ	50.8	87.3	71.5	42.0	8.6	78.7	18.1
14	5	1	飽和について	身の回りの物質	知識・理解	ア	41.1	79.6	64.5	28.4	4.0	75.6	8.2
15	5	2	溶解度について	身の回りの物質	科学的な思考	ア	37.3	85.5	48.5	26.6	16.5	69.0	6.4
16	5	3	再結晶について	身の回りの物質	知識・理解	ア	74.0	97.8	91.3	72.2	24.5	73.3	13.0
17	6	1	物質の状態変化	身の回りの物質	知識・理解	ア	39.0	90.2	56.9	26.3	7.4	82.8	4.1
18	6	2	物質の状態変化	身の回りの物質	科学的な思考	イ	27.8	82.4	44.3	13.8	1.6	80.8	16.4
19	7	1	力の大きさについて	身近な物理現象	知識・理解	ア	31.5	76.9	43.3	20.9	11.1	65.8	0.9
20	7	2	圧力について	身近な物理現象	知識・理解	ア	80.9	99.1	94.4	79.9	41.3	57.8	0.9
21	7	3	圧力について	身近な物理現象	知識・理解	イ	12.8	64.4	18.7	2.8	0.7	63.7	11.5
22	8	1	凸レンズのはたらき	身近な物理現象	知識・理解	ア	38.6	72.8	53.0	30.9	9.6	63.2	5.9
23	8	2	凸レンズのはたらき	身近な物理現象	知識・理解	イ	50.5	75.8	58.1	46.1	31.5	44.3	1.4
24	8	3	凸レンズのはたらき	身近な物理現象	知識・理解	イ	23.3	63.6	26.8	17.0	11.4	52.2	1.2
25	9	1	身のまわりの自然観察	植物の生活と種類	科学的な思考	ウ	45.7	93.4	71.1	31.2	4.2	89.2	21.9
26	10	1	空気の圧力	身近な物理現象	科学的な思考	ウ	37.0	87.8	60.0	21.0	4.4	83.4	18.6
27	10	2	空気の圧力	身近な物理現象	科学的な思考	ウ	14.6	55.7	22.3	5.6	1.0	54.7	23.4

分類	ア	基礎的・基本的な内容を問う問題(到達目標を含む)
	イ	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	ウ	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

- 知識・理解 ー 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) ■ 圧力の値を求めることができる。
■ たい積岩の特徴を理解する。
- 技能・表現 ー 観察、実験の基本操作とともに、自然の事物・現象を科学的に探究し、そこから導き出した考えを表現できるかどうかを見る問題。
(例) ■ プレパラートの動かし方を理解する。
- 科学的な思考 ー 自然の事物・現象を実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして問題を解決することができるかどうかを見る問題。
(例) ■ ストローの中を水が上がってくるしくみについて説明できる。
■ 植物の呼吸と光合成を理解する。

■ 課題等

植物の生活と種類

- ◇ 二酸化炭素が石灰水を白くにごらせることを、結果から読み取る問題（大問2小問2）については、設問別通過率92.8%であり、領域の目標値71.9%をかなり上回っている。
- ◆ 顕微鏡の特徴を問う問題（大問1小問2）については、設問別通過率34.5%であり、領域の目標値71.9%をかなり下回っている。
- ◆ 実験結果を基に、植物の呼吸と光合成について考察し、表現することに課題がある。
- ◆ 校庭の植物分布の違いを、資料を基に説明する問題（大問9）については、まとめや図などの多様な資料から、2つの植物の特徴を的確に読み取り、比較しながら説明することに課題がある。

大地の変化

- ◆ たい積岩の名称を答える問題（大問3小問1）については、設問別通過率25.7%であり、領域の目標値66.7%をかなり下回っている。
- ◆ P波とS波に関する計算を基に、S波の到着を判断させる問題（大問4小問2）については、設問別通過率22.2%であり、領域の目標値66.7%をかなり下回っている。

身の回りの物質

- ◆ 溶解度の違いをグラフから判断することや、水や水以外の液体が固体になるときの体積変化を理解することに課題がある。
- ◆ 氷が水に浮かぶことを密度の変化を基に説明する問題（大問6小問2）については、設問別通過率27.8%であり、領域の目標値66.0%をかなり下回っている。

身近な物理現象

- ◆ 圧力を求めさせる問題（大問7小問3）については、設問別通過率12.8%であり、領域の目標値61.9%をかなり下回っている。
- ◆ 凸レンズを通して、スクリーン上に映る像を説明することや、焦点距離にある物体がつくる像についての理解に課題がある。
- ◆ ストローの中を水が上がってくるしくみについて説明させる問題（大問10小問2）については、設問別通過率14.6%であり、領域の目標値61.9%をかなり下回っている。大気圧が関係する身近な現象を、大気圧の概念と結び付けて説明することに課題がある。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類ウとの関連を示しています

■ 指導改善のポイント

植物の生活と種類

- 顕微鏡の特徴を理解させることを重視
 - ・ 様々な対象物を観察させることで、顕微鏡と双眼実体顕微鏡のそれぞれの特徴を理解させることが大切である。
- 植物の呼吸と光合成を確実に理解させることを重視
 - ・ 呼吸と光合成のしくみとはたらきを確実に理解させた上で、2つの実験結果についてそれぞれ理由を述べさせ、確実に結果と要因を結び付けることができるかを確認することが大切である。
- 新たな情報を既存の知識と結び付けさせることを重視
 - ・ 与えられた情報を項目毎に一つ一つ整理し、そこから読み取れることを抜き出させ、それと知識を結び付けて、疑問の解決につながる答えを書かせることが大切である。

大地の変化

- たい積岩の観察を重視
 - ・ たい積岩を適切に観察させ、スケッチや文章で記録させるとともに、粒の大きさと成分を関連付けて分類させることが大切である。
- P波とS波の特徴を理解することを重視
 - ・ P波とS波の特徴を理解させ、震源からの距離や到達時間、速さなどについて、データを基にそれぞれの値を確実に求めることができるようにすることが大切である。

身の回りの物質

- 溶解度や状態変化に伴う体積や質量の変化を理解させることを重視
 - ・ 溶解度について理解させ、溶解度曲線から溶質の種類を特定できるようにする。また、物質の状態変化に伴う体積変化を、水とそれ以外の物質を取り上げて、理解させることが大切である。
- 状態変化に伴う密度の変化を理解させることを重視
 - ・ 氷が水に浮かぶ理由を、水の状態変化と結び付け、それに伴う密度の変化から説明できるように指導することが大切である。

身近な物理現象

- 物体が押す力と圧力の定義を理解させることを重視
 - ・ 物体が押す力と圧力の定義を理解させ、圧力についてはその値を求められるようにする。その際、単位の変換が確実にできるように指導することが大切である。
- 凸レンズによってできる像の位置や大きさを理解させることを重視
 - ・ 凸レンズを通った後の光の進み方について、作図を通して指導することで、どのような像が結ばれるかを理解させることが大切である。
- 身近な現象を基に、大気圧について理解させることを重視
 - ・ 吸盤やストローなど、大気圧に伴う身近な現象を取り上げ、具体的に説明できるように指導することが大切である。

5 中学校2年:英語

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

観点・領域		全県	A層	B層	C層	D層
平均到達度	教科全体	50.2	82.1	59.8	36.7	16.7
	理解	54.5	82.2	64.1	42.8	21.0
	表現・知識・理解	51.2	91.8	65.6	31.9	7.5
	表現・関心・意欲・態度	26.5	74.5	32.5	8.7	1.0
	聞くこと	61.5	88.4	73.2	47.9	27.3
	読むこと	50.2	78.3	58.6	39.6	17.1
	書くこと	37.1	81.9	46.7	18.7	3.8
達成率	教科全体	18.3	100.0	10.7	0.0	0.0
	理解	24.2	98.2	26.4	0.0	0.0
	表現・知識・理解	22.0	76.7	26.2	2.4	0.1
	表現・関心・意欲・態度	14.3	70.9	10.8	0.3	0.0
	聞くこと	42.7	96.6	63.9	10.4	0.5
	読むこと	12.8	70.7	7.1	0.0	0.0
	書くこと	18.7	86.3	16.4	0.3	0.0

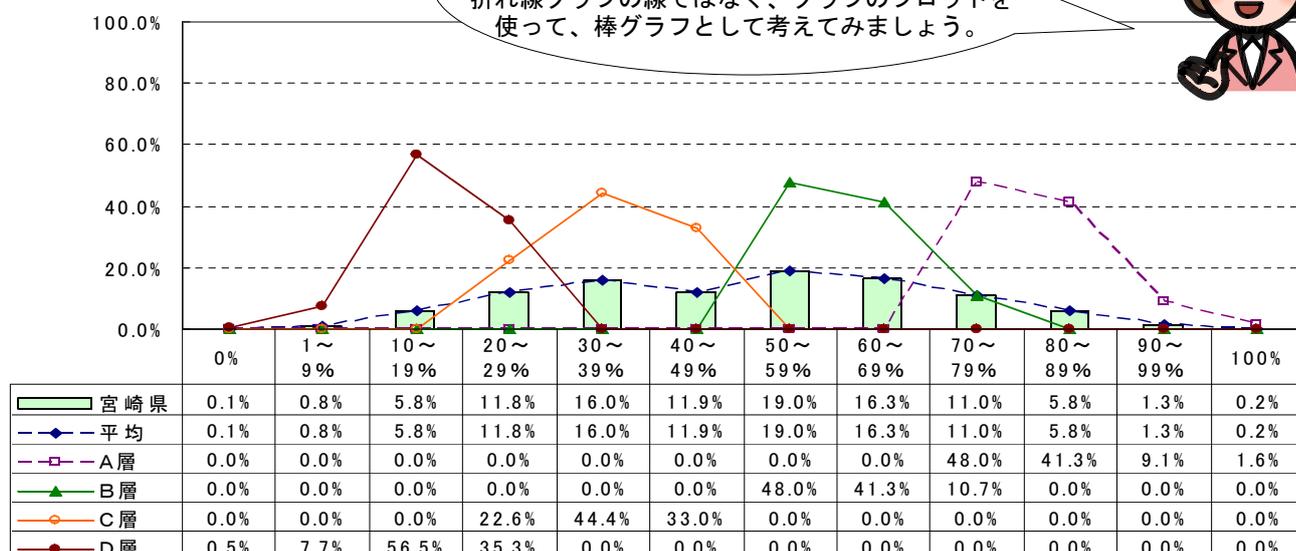
目標値	教科全体	70.0
	理解	71.0
	表現・知識・理解	70.0
	表現・関心・意欲・態度	65.0
	聞くこと	73.1
	読むこと	69.6
	書くこと	67.1



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況

50～59%が最も多かったことがわかります。
各層と県との到達度の分布を比較するために
折れ線グラフの線ではなく、グラフのプロットを
使って、棒グラフとして考えてみましょう。



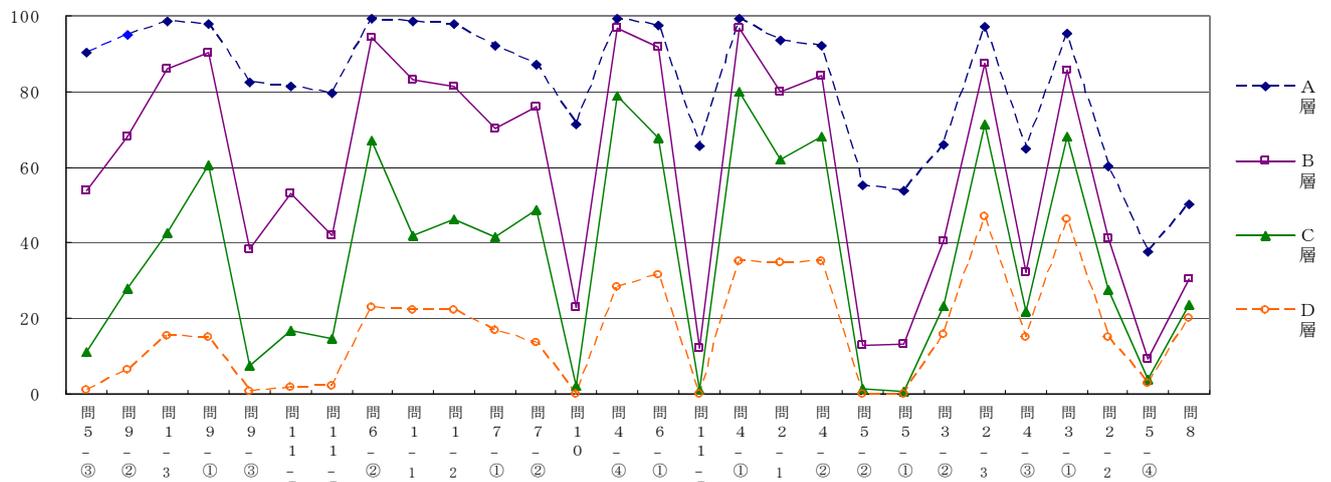
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率 ※A層～D層の数值は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (%)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	疑問詞(Who)の疑問文に対する応答	聞くこと	理解	ア	64.1	98.4	83.2	41.8	22.3	76.1	0.2
2	1	2	Let'sの文に対する応答	聞くこと	理解	ア	64.9	97.8	81.3	46.3	22.4	75.4	0.4
3	1	3	所有代名詞(yours)を含む疑問文に対する応答	聞くこと	理解	ア	64.9	98.6	86.1	42.8	15.4	83.2	0.2
4	2	1	疑問詞(What)の疑問文の理解	聞くこと	理解	ア	70.7	93.6	79.9	61.9	34.6	59.0	0.2
5	2	2	疑問詞(When)の疑問文の理解	聞くこと	理解	ア	36.2	60.3	41.2	27.6	15.0	45.3	0.2
6	2	3	疑問詞(Where)の疑問文の理解	聞くこと	理解	ア	78.9	97.2	87.6	71.3	47.1	50.1	0.2
7	3	1	数字の理解	聞くこと	理解	ア	76.6	95.2	85.6	68.2	46.2	49.0	0.2
8	3	2	一般動詞(like)の平叙文と否定文の理解	聞くこと	理解	ア	35.3	66.1	40.5	23.4	15.6	50.5	0.3
9	4	1	対話文の内容理解	読むこと	理解	イ	84.8	99.3	96.8	80.1	35.3	64.0	0.3
10	4	2	対話文の内容理解	読むこと	理解	イ	74.5	92.2	84.2	68.2	35.0	57.2	0.3
11	4	3	対話文の内容理解	読むこと	理解	イ	31.3	64.7	32.4	21.7	15.2	49.5	0.8
12	4	4	対話文の内容理解	読むこと	理解	イ	83.7	99.3	96.8	78.9	28.4	70.9	0.5
13	5	1	英文(家族の紹介文)の内容理解	読むこと	理解	イ	13.0	53.6	13.1	0.8	0.1	53.5	15.1
14	5	2	英文(家族の紹介文)の内容理解	読むこと	理解	イ	13.3	55.3	12.9	1.3	0.1	55.2	19.3
15	5	3	英文(家族の紹介文)の内容理解	読むこと	理解	イ	38.0	90.3	53.6	11.0	1.2	89.1	17.6
16	5	4	英文(家族の紹介文)の内容理解	読むこと	理解	イ	10.6	37.6	9.3	3.9	2.8	34.8	16.6
17	6	1	食・物を勧められたときの応答(No thank you)の仕方	読むこと	理解	イ	77.7	97.4	91.6	67.9	31.6	65.8	0.7
18	6	2	相手に自己紹介されたときの応答の仕方	読むこと	理解	イ	77.9	99.2	94.4	67.2	22.8	76.4	0.9
19	7	1	命令文の使い方	読むこと	理解	イ	57.4	92.0	70.3	41.5	16.7	75.3	0.9
20	7	2	相手に聞き返すときの表現(Pardon?)の仕方	読むこと	理解	イ	61.3	87.2	75.9	48.7	13.5	73.7	0.9
21	8	1	対話文の内容理解	読むこと	理解	ウ	29.7	50.3	30.3	23.8	20.0	30.3	1.9
22	9	1	曜日の尋ね方	書くこと	表現・知識・理解	ア	72.8	98.0	90.2	60.4	15.2	82.8	1.4
23	9	2	交通手段の尋ね方	書くこと	表現・知識・理解	ア	51.1	95.1	68.2	28.0	6.4	88.7	3.7
24	9	3	前置詞ofの使い方	書くこと	表現・知識・理解	ア	29.6	82.5	38.5	7.4	0.8	81.7	5.5
25	10	1	内容理解に基づく疑問詞(Where)に対する応答	書くこと	表現・関心・意欲・態度	ウ	19.9	71.4	22.9	2.2	0.0	71.4	28.1
26	11	1	物をあげたり、もらったときの場面で表現の仕方	書くこと	表現・関心・意欲・態度	ウ	38.7	81.4	53.0	16.9	1.8	79.6	25.1
27	11	3	物をあげたり、もらったときの場面で表現の仕方	書くこと	表現・関心・意欲・態度	ウ	14.4	65.5	12.2	1.1	0.0	65.5	37.2
28	11	5	物をあげたり、もらったときの場面で表現の仕方	書くこと	表現・関心・意欲・態度	ウ	33.2	79.5	41.9	14.6	2.2	77.3	27.5

分類	ア	基礎的・基本的な内容を問う問題(到達目標を含む)
	イ	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	ウ	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

- 理解** — 「聞くこと」「読むこと」について基礎的・基本的な知識が身に付いており、知識を生かして読み取ることができるかどうかを見る問題。
- (例) ■英語での問いかけに応答する。
■英語を聞いて詳細を理解する。
■英語を聞いて概要・要点を理解する。
■英語を読んで詳細を理解する。
■英語を読んで概要・要点を理解する。
■英語を読んで対話の流れを理解する。
■英語を読んで対話の詳細を理解する。
- 表現・知識・理解** — 英語の基本的な文構造や語順などの文法的な知識が身に付いているかどうかを見る問題。
- (例) ■与えられた英語を使って正しい語順で書く。
- 表現・関心・意欲・態度** — 英語が使われる実際の場面において、相手の行動を促したり自分の意志を示したりするなど、適切に表現することができるかどうかを見る問題。
- (例) ■英語を読んで詳細を理解し適切に表現する。
■与えられた場面に合うように適切に表現する。

■ 課題等

聞くこと

- ◇ 疑問詞Whereの疑問文の理解（大問2小問3）や数字の理解（大問3小問1）については、それぞれの設問別通過率が78.9%、76.6%で、領域の目標値の73.1%をやや上回っている。
- ◆ 日付け（月名や日にち）に関する語彙に課題がある。
- ◆ やや長めの対話文を聞いて、その概要や要点を理解することに課題がある。特に一般動詞likeの平叙文と否定文の理解（大問3小問2）の設問別通過率は35.3%で、領域の目標値をかなり下回っている。

読むこと

- ◇ 対話文の内容理解（大問4小問1、4）については、それぞれの設問別通過率が84.8%、83.7%で、領域の目標値の69.6%をかなり上回っている。
- ◇ 食べ物を勧められたときの応答の仕方（No, thank you. 大問6小問1）や相手に自己紹介されたときの応答の仕方（大問6小問2）については、領域の目標値を上回っている。
- ◆ やや長めの英文（家族の紹介文）を読んで、その概要、要点を理解することや、理解した内容を他の表現を使って書き換えること（大問5）に課題がある。すべての設問別通過率が、領域の目標値よりも30ポイント以上下回っている。

書くこと

- ◇ 曜日の尋ね方（大問9小問1）の設問別通過率は72.8%で、領域の目標値67.1%を上回っている。
- ◆ 前置詞ofの使い方（大問9小問3）については、昨年に引き続いての出題であったが設問別通過率29.6%で、領域の目標値をかなり下回っている。
- ◆ 「書くこと」（大問9、10、11）に関する内容（曜日や交通手段の尋ね方、前置詞ofの使い方、内容理解に基づく疑問詞Whereに対する応答、物をあげたりもらったりする場面での表現の仕方）に課題がある。
実際の英語の使用場面において相手の行動を促したり自分の意志を示すなど、言語の働きを取り上げて書くことに課題がある。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類ウとの関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

聞くこと

- **まとまりのある英文を聞いて、その概要や要点をとらえる指導を重視**
 - ・ 言語活動を通して、話し手が伝えたい内容や聞き手が必要としている情報について、メモをとりながらキーワードを聞き取るような指導をしていくことが必要である。
- **「書くこと」との有機的な関連を図る指導を重視**
 - ・ 教科書本文やリスニング教材等を活用して、はじめは1文から、段階的にまとまりのある英文を聞きとり、ノートに書かせる等、いわゆるディクテーション活動を授業に取り入れ、指導を行っていくことが大切である。

読むこと

- **まとまりのある英文を読んで、その概要や要点をとらえる指導を重視**
 - ・ あらかじめ手がかりとなる語句や表現を与えたり、事前に内容を尋ねる質問をしたりして、書かれた内容を正確に読み取ることができるように指導することが必要である。
 - ・ 生徒の学習の段階に応じて、探し読み (scanning) や拾い読み (skimming) 等の必要な情報を選び取る指導をバランスよく取り入れ、教科書本文全体の文章をスピードを伴って読み取ることができるように指導することが大切である。
- **「書くこと」との有機的な関連を図る指導を重視**
 - ・ 伝言や手紙、メモ等の題材を扱った英文の内容を読み取らせ、その概要を他の英語表現を使って書き換えさせたり、3～5文程度の要約文を書かせたりする指導を行っていくことが大切である。

書くこと

- **文法的に正しい語順や語法で書くための知識の定着を図る指導を重視**
 - ・ 英語の基本的な文構造や語順、連語や慣用表現の指導にあたっては、学習した単語や基本文を使って、日常生活などの身近な事柄に関して、3～5文程度の英文を日常的に宿題等で書かせることにより、繰り返し定着を図る指導を行うことが大切である。
- **まとまりのある英文を書く指導を重視**
 - ・ 自分の夢や友達の紹介等のテーマを設定し、5文程度のまとまりのある英文を書かせるために、例えばマッピングの手法をペア学習に取り入れ、連想によって関連付けられたキーワードとなる語彙を手がかりに自分の考えや思いを書かせる等の活動を取り入れた指導が大切である。
 - ・ 「書くこと」の指導にあたっては、生徒の自己表現活動を促す視点からも、日頃から様々な機会をとらえて、辞書を使用させることが必要である。
- **「読むこと」との有機的な関連を図る指導を重視**
 - ・ 道案内や旅行、学校での学習や活動等、生徒にとって身近な言語の使用場面に関する対話を「読むこと」を通して、単に書かれてある内容を理解するだけでなく、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら自分の考えや意見を3～5文程度の感想にまとめる等、「書くこと」と結び付けることが大切である。

Ⅲ 意識調査の分析結果

Ⅲ-1 小学校

■「授業」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
1	好きな授業	① 国語	71.2	79.7	67.8	57.7	47.2	32.5
		② 社会	63.2	70.6	58.9	55.2	52.3	18.3
		③ 算数	80.3	87.9	77.5	67.2	58.5	29.4
		④ 理科	86.9	90.5	84.8	83.7	75.6	14.9
		⑤ 音楽	80.2	83.3	79.5	73.6	65.3	18.0
		⑥ 図画工作	87.1	86.9	87.4	86.9	81.8	5.1
		⑦ 体育	90.9	89.9	91.8	91.5	84.1	5.8
		⑧ 家庭	92.0	93.4	92.1	88.3	81.3	12.1
		⑨ 総合的な学習の時間	83.7	87.5	82.7	76.6	61.9	25.6
		⑩ 道徳	75.4	77.8	75.1	70.6	58.0	19.8
		⑪ 学級活動	87.8	91.1	87.3	81.5	65.3	25.8
2	授業理解	① 国語	91.3	97.5	90.4	77.6	57.4	40.1
		② 社会	84.5	91.9	82.5	70.1	58.0	33.9
		③ 算数	88.9	96.3	86.6	75.0	62.5	33.8
		④ 理科	93.1	96.3	92.2	87.0	78.4	17.9
		⑤ 音楽	89.2	92.9	88.7	80.7	69.9	23.0
		⑥ 図画工作	94.8	96.2	94.9	91.2	83.0	13.2
		⑦ 体育	96.5	97.1	96.7	94.4	88.6	8.5
		⑧ 家庭	91.2	93.3	90.9	86.3	77.3	16.0
		⑨ 総合的な学習の時間	89.5	94.5	88.7	79.0	61.4	33.1
		⑩ 道徳	90.4	94.0	89.5	83.5	73.9	20.1
		⑪ 学級活動	93.1	95.9	93.3	85.6	68.2	27.7
3	わかりやすい授業	① 先生が一人で学級のみみんなを教える	94.6	97.3	94.4	87.6	79.5	17.8
		② 先生が何人かで学級のみみんなをいっしょに教える	91.2	94.3	90.4	85.1	74.4	19.9
		③ 学級が分かれて先生がそれぞれに教える	91.9	95.0	91.7	84.4	73.9	21.1
		④ コンピュータを使った授業	90.0	93.4	89.0	84.4	73.3	20.1
		⑤ 学校の先生以外の方が教える授業	82.1	86.8	79.8	76.4	68.2	18.6

- 本県の小学5年生が最も好きな授業は家庭科、わかる授業は体育であり、授業形態では「教師が1人で学級のみみんなを教える」形態を最も肯定的にとらえている。
- A層の児童の方がD層の児童より「国語、算数の授業が好き」「国語、算数、社会、総合的な学習の時間の授業内容がわかる」と肯定的にとらえており、学力との関連が深い。

Ⅲ-1 小学校

■「学習」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
4	わからないとき	① 自分一人でやってみる	83.9	88.7	82.6	75.1	65.3	23.4
		② 友だちに聞く	51.6	47.7	53.5	55.6	64.2	-16.5
		③ 家の人に聞く	86.3	87.0	86.8	83.6	75.0	12.0
		④ 学校の先生に聞く	40.0	39.3	38.8	45.5	52.3	-13.0
		⑤ 塾や家庭教師の先生に聞く	15.9	14.2	15.2	23.6	27.8	-13.6
		⑥ そのままにしておく	15.9	8.9	17.9	29.7	43.8	-34.9
5	家庭学習のようす	① 授業のための予習をする	60.2	62.3	59.5	57.9	47.2	15.1
		② 授業で習ったことを復習する	83.0	89.4	81.9	69.6	48.9	40.5
		③ 出された宿題をする	95.7	98.3	96.0	89.0	73.9	24.4
		④ 家の人から言われなくても進んで勉強する	78.6	81.6	78.4	71.6	58.5	23.1
		⑤ 自分がおもしろいと思ったことを進んで勉強する	80.1	83.2	79.3	74.6	61.9	21.3
6	家庭学習	① 平日に家で一人で勉強する時間	50.7	57.7	47.1	41.4	39.8	17.9
		② 学校のない日に家で一人で勉強する時間	45.8	50.4	43.2	41.5	34.7	15.7
7	① 塾	1週間で塾に通っている日数	5.4	3.8	5.5	9.1	15.9	-12.1
8	活用	① あきらめずにいろいろな方法を考える	83.6	90.8	82.3	67.4	51.7	39.1
		② 新しく学習した漢字を普段の生活で使おうとする	77.2	83.6	75.0	66.6	52.3	31.3
		③ 普段の生活の中で暗算をすることがある	81.7	88.7	79.7	68.5	54.5	34.2

- 学習内容がわからないとき、児童は、家の人に聞いたり、自分一人でやってみたりする割合が多い。また、「友だちに聞く」「学校の先生に聞く」「塾や家庭教師の先生に聞く」と答えた割合は、D層の児童の方がA層の児童よりも多く、中学校の結果とは異なる傾向がある。
- わからないとき、自分一人でやってみる割合については、A層の児童の方がD層の児童よりも多く、学力との関連が深い。
- 児童の95.7%が、出された宿題をすると答えている。
- 授業で習ったことの復習をする割合については、A層の児童の方がD層の児童よりも多く、学力との関連が深い。
- 平日に一人で勉強すると答える児童の割合が昨年度34.3%から16.4ポイント、土日に一人で勉強すると答える児童の割合が昨年度34.7%から11.1ポイント増えている。
- A層の児童の方がD層の児童よりも、解き方が分からなくてもあきらめずにいろいろな方法を考えたり、漢字や暗算を生活の中で積極的に使ったりしている。

Ⅲ-1 小学校

■「生活」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
9	① 読書	1か月の読書数	68.7	76.3	66.7	53.1	42.6	33.7
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ 学校以外での過ごし方	① 外で遊ぶ	89.8	88.5	91.3	89.4	85.2	3.3
		② テレビを見たりマンガを読んだりする	79.3	80.5	78.6	78.2	71.0	9.5
		③ テレビゲームやパソコンなどをする	55.7	54.2	55.8	60.0	63.6	-9.4
		④ 本や新聞を読む	58.3	65.3	54.1	51.5	49.4	15.9
		⑤ 勉強をする	74.7	78.9	74.1	64.8	56.3	22.6
		⑥ そろばん、習字、ピアノなどのお稽古ごとをする	41.7	51.6	37.0	27.3	26.1	25.5
		⑦ スポーツクラブやスポーツ少年団などの活動をする	50.3	50.9	51.2	46.0	40.9	10.0
		⑧ 公民館や地域の活動に参加する	45.2	47.4	44.4	41.9	37.5	9.9
		⑨ 美術館、図書館、博物館などに行く	33.7	34.1	32.4	36.1	41.5	-7.4
		⑩ 家の手伝いをする	76.2	77.0	75.8	75.3	71.6	5.4
		⑪ 家族と過ごしたり出かけたりする	85.3	86.4	85.4	83.3	72.2	14.2
11	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 家での生活	① 毎朝自分で起きる	67.0	67.9	67.1	64.9	57.4	10.5
		② 朝ご飯を毎日食べる	95.8	98.3	95.5	90.1	80.1	18.2
		③ 前日か朝に学校に持って行く物を確かめている	88.4	93.5	87.4	77.5	63.1	30.4
		④ 身の回りのことはできるだけ自分でする	86.0	89.4	85.5	78.1	71.0	18.4
		⑤ 勉強する時間を自分で決めて実行している	63.1	65.3	62.2	60.3	49.4	15.9
		⑥ 決まった時間に寝る	61.6	65.6	59.4	57.4	51.1	14.5
		⑦ 家族でいろいろな話をする	81.8	86.8	79.5	74.9	65.3	21.5
		⑧ テレビを見る時間など家の人とルールを決めている	61.4	66.5	58.9	53.4	57.4	9.1

- 「読書」については、昨年度57.9%から10.8ポイント増えている。また、A層の児童の方がD層の児童よりも読書数が多く、学力との関連が深い。
- 学校以外の過ごし方において、児童は、外で遊んだり家族と過ごしたりすることが多く、美術館、図書館、博物館などの文化施設に行ったり、習字、ピアノなどのお稽古ごとをしたりすることが少ない。
- D層の児童の方がA層の児童より、学校以外で「テレビゲームやパソコンなどをする」と答える割合が多く、「勉強をする」、「お稽古ごとをする」と答える割合が少ない。
- 児童の95.8%が毎日朝食を食べていると答えており、昨年度と同じである。
- 家での生活においては、「前日か朝に学校の準備を確かめる」「家族でいろいろな話をする」「身の回りのことはできるだけ自分でする」「朝ご飯を毎日食べる」に関して肯定的に答える児童に、特にA層とD層の差が見られ、学力との関連が深い。

Ⅲ-1 小学校

■ 「自分」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
12	自分に関すること	① 物事を最後までやりとげて嬉しかったことがある	91.2	94.6	90.9	83.3	71.6	23.0
		② 難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している	78.9	83.1	78.3	69.1	57.4	25.7
		③ 自分にはよいところがあると思う	75.7	79.9	74.3	68.5	60.2	19.7
		④ 将来の夢や目標をもっている	88.7	90.2	89.7	82.6	67.6	22.6
		⑤ 世の中の出来事に関心がある	76.2	82.2	74.2	66.3	54.0	28.2
		⑥ 学校のきまりを守っている	88.4	92.4	87.9	79.4	65.9	26.5
		⑦ 友だちとの約束を守っている	94.3	96.9	93.9	89.4	75.0	21.9
		⑧ 人が困っているときは進んで助けている	83.2	86.1	82.4	78.6	65.9	20.2
		⑨ 近所の人に進んであいさつをする	92.2	94.9	92.0	86.2	73.3	21.6
		⑩ 人の気持ちが分かる人間になりたい	89.8	93.4	89.2	82.1	71.6	21.8
		⑪ いじめはどんな理由があってもいけない	94.8	97.3	95.0	88.6	72.2	25.1
		⑫ 人の役に立つ人間になりたい	92.7	95.3	92.6	86.7	73.9	21.4

- 「いじめはどんな理由があってもいけない」「友だちとの約束を守っている」「人の役に立つ人間になりたい」「近所の人に進んであいさつをする」「人の気持ちが分かる人間になりたい」「物事を最後までやりとげて嬉しかったことがある」と答えている児童は90%以上であり、昨年度とほぼ同じ結果である。
- 「授業」「学習」「生活」の項目と比較すると、「自分」に関することの質問内容の肯定的な答えは、A層とD層の差が大きいものが多く、学力との関連が深い。
- 他の質問と比較すると「自分にはよいところがあると思う」「世の中の出来事に関心がある」に関して肯定的に答える割合が低い。

※ 「全県」は、各問いに対して肯定的な回答をした児童の割合を表している。また、A層・B層・C層・D層とは、学力検査において、全教科の最高到達度と最低到達度の差を均等に4段階の層に分け、上位から順にA～Dとしたものであり、学力検査で分けられた各層の児童が、各質問内容に対して肯定的な回答をした人数の割合が示しある。

※ A層(成績上位層)－D層(成績下位層)のポイントが大きいほど、質問内容は学力と関連がある。

Ⅲ-2 中学校

■「授業」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
1	好きな授業	① 国語	64.0	70.8	67.2	62.0	52.5	18.3
		② 社会	67.5	81.5	73.0	62.3	53.8	27.7
		③ 数学	54.2	80.6	58.4	48.0	38.3	42.3
		④ 理科	72.0	83.5	74.5	68.6	64.9	18.6
		⑤ 音楽	70.8	70.7	71.2	71.2	66.9	3.8
		⑥ 美術	69.5	65.3	68.6	70.8	71.8	-6.5
		⑦ 保健体育	81.5	74.2	79.7	84.9	81.5	-7.3
		⑧ 技術・家庭	80.2	80.2	80.9	80.5	76.4	3.8
		⑨ 英語	59.8	85.0	69.0	51.3	33.5	51.5
		⑩ 総合的な学習の時間	78.7	76.8	79.7	79.9	71.0	5.8
		⑪ 道徳	64.0	60.4	62.0	66.9	64.1	-3.7
		⑫ 学活	85.2	85.3	86.1	86.0	78.1	7.2
2	授業理解	① 国語	84.1	93.4	89.5	81.2	64.3	29.1
		② 社会	75.7	92.2	82.0	69.7	58.6	33.6
		③ 数学	67.3	90.9	73.7	60.3	48.1	42.8
		④ 理科	78.7	91.6	82.9	74.7	66.3	25.3
		⑤ 音楽	80.0	82.0	81.5	79.8	72.1	9.9
		⑥ 美術	82.2	81.7	82.2	82.8	79.5	2.2
		⑦ 保健体育	89.7	86.8	90.0	90.7	86.4	0.4
		⑧ 技術・家庭	83.2	87.4	84.8	82.1	76.9	10.5
		⑨ 英語	64.4	92.2	74.5	54.9	36.1	56.1
		⑩ 総合的な学習の時間	88.1	89.5	90.0	88.2	77.6	11.9
		⑪ 道徳	85.9	86.0	86.6	86.6	79.3	6.7
		⑫ 学活	92.4	92.8	93.6	92.8	84.5	8.3
3	わかりやすい授業	① 先生が一人で学級のみを教える	88.5	96.4	92.3	85.9	75.9	20.5
		② 先生が何人かで学級のみをいっしょに教える	88.1	91.7	90.8	86.5	80.6	11.1
		③ 学級が分かれて先生がそれぞれに教える	93.3	96.6	94.9	92.9	84.9	11.7
		④ コンピュータを使った授業	85.2	88.8	87.1	84.4	77.4	11.4
		⑤ 学校の先生以外の方が教える授業	76.4	82.2	79.1	75.1	65.5	16.7

- 本県の中学2年生が最も好きな授業、わかる授業は学級活動であり、授業形態では「学級が分かれて先生がそれぞれに教える」形態を最も肯定的にとらえており、昨年度と同じ結果である。
- 「数学・英語の授業が好き」「数学・英語の授業がわかる」という質問について、A層とD層の差が特に大きく、学力との関連がかなり深い。
- 国語、社会、数学、理科、英語は、他の教科と比較すると「授業が好き・理解できる」と肯定的に答える生徒の割合のA層とD層の差が大きい傾向があり、学力との関連が深い。

Ⅲ-2 中学校

■「学習」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
4	わからないとき	① 自分一人でやってみる	82.5	95.0	89.0	78.1	62.0	33.0
		② 友だちに聞く	70.1	61.1	70.7	73.1	63.4	-2.3
		③ 家の人に聞く	65.6	69.8	69.2	63.8	53.9	15.9
		④ 学校の先生に聞く	32.6	40.0	33.4	30.8	30.1	9.9
		⑤ 塾や家庭教師の先生に聞く	23.5	32.0	23.9	22.4	19.0	13.0
		⑥ そのままにしておく	33.0	12.7	27.5	39.6	46.8	-34.1
5	家庭学習	① 授業のための予習をする	38.4	43.7	35.6	39.7	40.1	3.6
		② 授業で習ったことを復習する	85.2	91.4	90.2	83.9	63.9	27.5
		③ 出された宿題をする	94.6	98.5	97.6	94.3	79.0	19.5
		④ 家の人から言われなくても進んで勉強する	70.4	74.7	75.1	68.6	53.5	21.2
		⑤ 自分がおもしろいと思ったことを進んで勉強する	73.1	79.3	74.2	73.2	61.7	17.6
6	家庭	① 平日に家で一人で勉強する時間	63.9	74.5	69.7	61.0	41.3	33.2
		② 学校のない日に家で一人で勉強する時間	71.7	83.0	77.8	69.2	45.8	37.2
7	塾	① 1週間で塾に通っている日数	2.4	4.9	2.0	1.9	3.8	1.1
8	活用	① あきらめずにいろいろな方法を考える	70.9	94.1	80.5	62.9	42.8	51.3
		② 新しく学習した漢字を普段の生活で使おうとする	58.4	70.8	61.5	55.9	44.3	26.5
		③ 普段の生活の中で暗算をすることがある	70.3	87.4	77.9	64.8	45.3	42.1

- 学習内容がわからないときは、「自分一人でやってみる」の割合が多い。また、A層の生徒の方がD層の生徒より、「自分一人でやってみる」の割合が多く、逆にD層の生徒の方が、「そのままにしておく」の割合が多く、学力との関連が深い。また、「学校の先生に聞く」「塾や家庭教師の先生に聞く」と答える割合は、A層の生徒の方がD層の生徒よりも多く、小学校の結果とは異なる傾向がある。
- 学習内容がわからないときは、「学校の先生に聞く」と答える割合が低い。
- 生徒の94.6%が、「出された宿題をする」と答えており、昨年度と同じ結果である。
- 予習よりも、授業で習ったことの復習の方が、A層とD層の差が大きい。
- 平日、土日とも家で自分一人で勉強する時間については、A層とD層の差が大きく、学力との関連が深い。
- 分からないとき「あきらめずにいろいろな方法を考える」という質問に対する肯定的な答えは、A層とD層の差がかなり大きく、学力との関連が深い。
- 身近な生活で、暗算をするという質問に対する肯定的な答えは、A層とD層の差が大きく、学力との関連が深い。
- 学習の活用に関して、新しく習った漢字を普段の生活で使おうとする意識が全体的に低い。

Ⅲ-2 中学校

■「生活」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
9	① 読書	1か月の読書数	32.0	45.5	33.2	29.2	26.9	18.6
10	① 学校以外での過ごし方	① 外で遊ぶ	74.8	58.9	71.4	79.7	83.4	-24.5
		② テレビを見たりマンガを読んだりする	88.3	90.9	89.6	87.6	83.1	7.8
		③ テレビゲームやパソコンなどをする	63.9	67.8	65.5	62.0	61.6	6.2
		④ 本や新聞を読む	46.9	64.2	48.8	42.6	41.2	23.0
		⑤ 勉強をする	59.8	71.0	65.2	55.8	43.1	27.9
		⑥ そろばん、習字、ピアノなどのお稽古ごとをする	19.2	27.5	22.8	16.1	9.8	17.7
		⑦ スポーツクラブなどの活動をする	51.0	44.3	52.6	52.7	43.3	1.0
		⑧ 公民館や地域の活動に参加する	15.5	12.4	14.3	16.9	16.7	-4.3
		⑨ 美術館、図書館、博物館などに行く	11.5	13.9	10.8	11.2	13.9	0.0
		⑩ 家の手伝いをする	58.3	55.0	58.4	59.0	58.2	-3.2
		⑪ 家族と過ごしたり出かけたりする	73.2	73.6	74.0	73.1	69.7	3.9
11	① 家での生活	① 毎朝自分で起きる	67.2	67.2	66.3	68.0	67.1	0.1
		② 朝ご飯を毎日食べる	94.8	98.6	97.1	94.0	84.6	14.0
		③ 前日か朝に学校に持って行く物を確かめている	89.0	94.5	91.9	88.4	73.9	20.6
		④ 身の回りのことはできるだけ自分でする	85.5	87.8	88.4	84.8	73.8	14.0
		⑤ 勉強する時間を自分で決めて実行している	54.7	63.3	57.5	52.7	43.3	20.0
		⑥ 決まった時間に寝る	45.2	54.3	47.3	43.0	37.1	17.2
		⑦ 家族でいろいろな話をする	74.9	83.7	78.6	72.8	59.7	24.0
		⑧ テレビを見る時間など家の人とルールを決めている	36.9	47.2	39.5	34.2	28.6	18.6

- 「読書」については、A層の生徒の方がD層の生徒よりも読書数が多く、学力との関連が深い。
- 学校以外の過ごし方において、生徒は、テレビを見たり漫画を読んだりすることが多く、美術館や図書館、博物館等の文化施設へ行ったり、地域の活動に参加したり、お稽古ごとにとったりする割合が少ない。
- D層の生徒の方が、A層の生徒より、学校以外で「外で遊ぶ」と答える割合が多く、「本や新聞を読む」、「勉強をする」と答える割合が少ない。
- 生徒の94.8%が、毎日朝食を食べていると答えており、昨年度とほぼ同じである。
- 家での生活においては、「家族でいろいろな話をする」「前日か朝に学校に持って行く物を確かめている」「勉強する時間を自分で決めて実行している」の答えについて、A層とD層の差が大きく、学力との関連が深い。

Ⅲ-2 中学校

■「自分」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
1	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ 自分に関すること	物事を最後までやりとげて嬉しかったことがある	91.1	95.5	93.2	90.7	79.9	15.6
		難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している	63.8	69.3	66.1	63.1	52.0	17.3
		自分にはよいところがあると思う	57.8	65.7	59.8	56.7	46.9	18.8
		将来の夢や目標をもっている	72.6	73.3	72.8	73.3	67.7	5.6
		世の中の出来事に関心がある	66.5	77.9	70.8	63.6	49.4	28.5
		学校のきまりを守っている	88.2	94.8	91.3	87.0	74.5	20.3
		友だちとの約束を守っている	95.2	97.1	96.7	95.1	87.3	9.8
		人が困っているときは進んで助けている	74.4	75.8	76.3	74.2	65.4	10.4
		近所の人に進んであいさつをする	90.2	92.6	91.2	90.9	80.4	12.2
		人の気持ちが分かる人間になりたい	91.8	95.3	94.4	91.2	79.6	15.7
		いじめはどんな理由があってもいけない	94.8	95.8	95.4	94.9	90.9	4.9
		人の役に立つ人間になりたい	93.4	95.4	95.4	93.1	84.3	11.1

- 「友だちとの約束を守っている」「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」「人の気持ちが分かる人間になりたい」「近所の人に進んであいさつをする」「物事を最後までやりとげて嬉しかったことがある」と回答している生徒は90%以上であり、昨年度と同様の結果である。
- A層とD層を比較してみると、世の中の出来事への関心の差が大きく、学力との関連が深い。
- 「学校のきまりを守っている」という質問については、全体的に見ると肯定的な回答が多く、各層を比較するとA層とD層の差が大きい。
- 自分に関することの内容の中で、「自分にはよいところがあると思う」の割合が他の質問に比べて最も低く、小学校の75.7%より17.9ポイント低い。

※ 「全県」は、各問いに対して肯定的な回答をした生徒の割合を表している。また、A層・B層・C層・D層とは、学力検査において、全教科の最高到達度と最低到達度の差を均等に4段階の層に分け、上位から順にA～Dとしたものであり、学力検査で分けられた各層の生徒が、各質問内容に対して肯定的な回答をした人数の割合が示してある。

※ A層(成績上位層)－D層(成績下位層)のポイントが大きいほど、質問内容は学力と関連がある。

数値についてもっと知りたい！

表に出てくる数値はどうやって求めているの？

到達度 = できた問題数 ÷ 全問題数 × 100 (%)
(正答+準正答)

平均到達度 = 到達度の合計 ÷ 児童 (生徒) 数 (%)

目標値 = 問題ごとの**設定通過率**の総数 ÷ 問題数



設定通過率って？

- 1問ごとに設定されています。
- 全受検生数のうち、その問いができた人数の割合をめざす値として設定しています。
- 各教科の問題の特性に応じて決められています。

達成率 = 到達度が目標値に達している児童 (生徒) 数 ÷ 児童 (生徒) 数 × 100 (%)

設問別通過率 = 到達した児童 (生徒) 数 ÷ 児童 (生徒) 数 × 100 (%)



A層～D層についてもっと知りたい！

A層～D層の値って何のためにあるの？

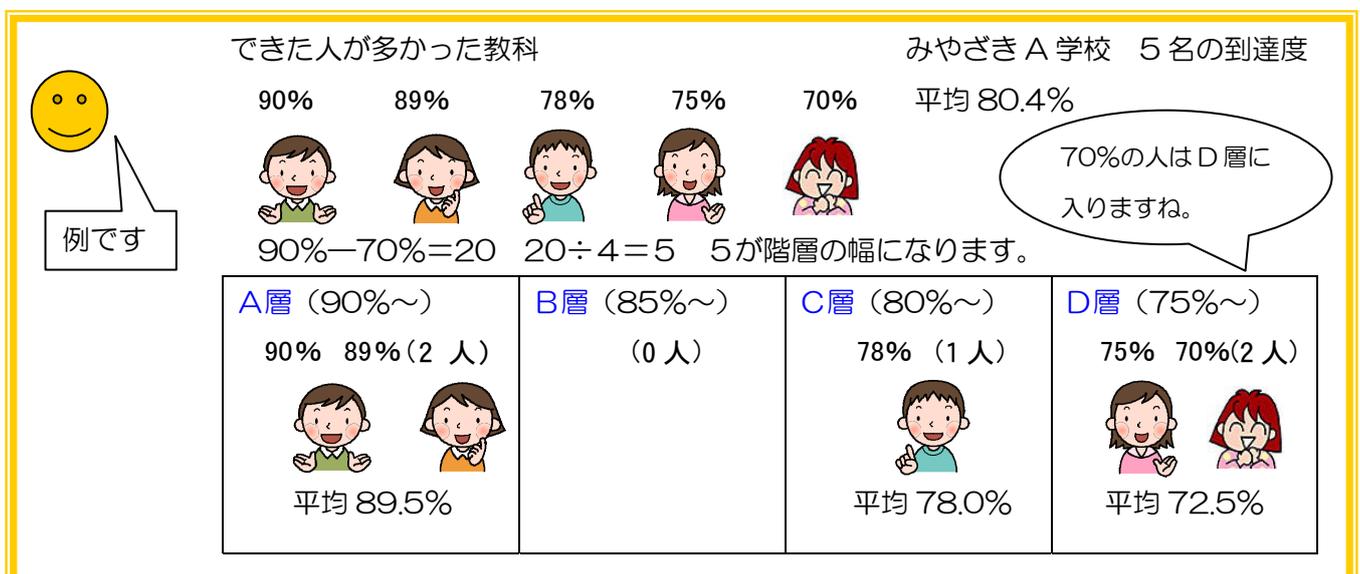
みやざき小中学校学力調査は、教科によって問題の数や内容が違います。また、結果は得点ではなく到達度(できた割合%)で表しています。ですから、結果が出たときに、問題ごとの到達度や個人差の大きい問題はどれかなど、集団や個人で比べるための目印となるよう示しています。

- A～D層の値は、同じ教科や教科どうしにおける定着の違いを比べるための目印になるものです。
- 全教科のA～D層の結果と、意識調査の結果とを比較することで、「このテストができた人はこんな意識をもって生活している傾向がある。」等、学力と意識との関連を見つげるための参考にすることもできます。

A層～D層ってどうやって求めているの？

簡潔に言うと、最も高い到達度と最も低い到達度の差を4等分して、A～Dとしています。

- 教科ごとに個人の到達度を出して、集団ごとに最も高い到達度と最も低い到達度の差を求めます。
- 求めた差を均等に4つに分けて、階層を決めます。最も高い層から順に、ABCD層となります。

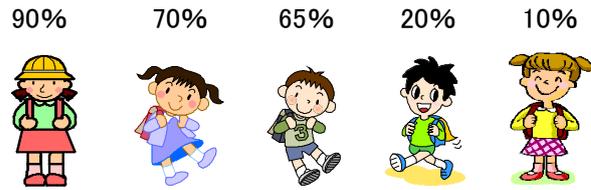


できた人とできなかった人の差が大きかった教科

みやざきB学校 5名の到達度



例です



70%の人はB層に入りますね。

$90\% - 10\% = 80$ $80 \div 4 = 20$ 20が階層の幅になります。

A層 (90%~) 90% (1人) 平均 90.0%	B層 (70%~) 70% 65% (2人) 平均 67.5%	C層 (50%~) (0人)	D層 (30%~) 20% 10% (2人) 平均 15.0%
--	--	--------------------------	--

A層~D層は、集団や教科ごとに、個人の到達度を使ったクラス分けのようなものです。単純に人数で均等に分けたものではありません。

A層~D層の分け方はいくつあるの？

教科ごとと、全教科を合わせた結果で、A層~D層をそれぞれ求めています。つまり、下の表のように、小学校は5通り、中学校は6通りあります。

		A層	B層	C層	D層
小学校	国語				
	社会				
	算数				
	理科				
	4教科				

教科ごとの分け方は、教科ごとの全体概要や設問別通過率で利用されています。

		A層	B層	C層	D層
中学校	国語				
	社会				
	数学				
	理科				
	英語				
	5教科				

全教科の分け方は、意識調査の結果分析で利用されています。

A層～D層の数値でどんなことがわかるの？

全体概要では

全体の平均到達度が、どの層にあるかがわかります。また、各層の中で目標値を達成した人が何%いたのかがわかります。

設問別通過率では

表のA層～D層の下に書かれてある数値で、階層の中で、その問題ができた人が何%いたかがわかります。また、A層とD層の中で、できた人の割合の差がわかります。

児童生徒個人の成績表では

個人の到達度が県全体のA層～D層のどの階層に入っているかが示されています。
(印の意味 A層・・・◎ B層・・・○ C層・・・△ D層・・・▲)

- できた教科（問題）とできなかった教科（問題）がわかります。
- 教科（問題）が、上位層と下位層のどちらが多い傾向かがわかります。
- A～D層の差が大きい教科（問題）は、できた人とできなかった人の差が大きい傾向であることがわかります。
- 意識調査でA～D層の差が大きい質問は、学力テストと意識調査の結果の関連が深いことがわかります。

どんなところを見て分析すればいいの？

- 平均到達度は、A層～D層のどのあたりに位置していますか？
- 平均到達度やA層～D層の値を他の集団のものと比べるとどんなことがいえそうですか？
- A層～D層の達成率についてどんなことがいえそうですか？
- 設問別通過率が低いのはどのような問題ですか？
- A層とD層の差が大きいのはどのような問題ですか？

※ 以上、参考にしてください。

